支出		
	小荷物運賃	
	郵便物運賃、入場料、雑収	

様式

旅客運輸成績月報及同年報（成績第四號ノ乙）

旅客運輸成績月報（年報）（乙）

昭和　年　月（度）分　　經理局調査課

種別	別	全局 本年度	全局 前年度対比増減	何々鉄道局 〃	〃	〃〃〃 〃	〃	〃〃〃 〃	〃	〃〃〃 〃	〃	〃〃〃 〃	〃	〃〃〃 〃	〃	算式其他
		圓	圓													
旅客取扱収入	總旅客運賃（含寝臺、急行料金） 一等															取扱収入トハ省線各驛ニ於テ發送ノ取扱ヲ爲シタル旅客及荷物ニ對スル總収入（含航路収入）ニシテ現金収入ノ有無ニ關係ナキモノトス 但シ省及局ニテ取扱計算シタルモノヲモ含ム
	總旅客運賃（含寝臺、急行料金） 二等															
	總旅客運賃（含寝臺、急行料金） 三等															
	總旅客運賃（含寝臺、急行料金） 計															
	定期旅客運賃（内譯） 二等															
	定期旅客運賃（内譯） 三等															
	定期旅客運賃（内譯） 計															
	手荷物運賃															
	小荷物運賃															
	郵便物運賃															
	入場料															
	雜収															
	合計															
一日平均旅客取扱収入																旅客取扱収入÷其ノ月又ハ年度日數
同上局別割合		%	%													局別一日平均旅客取扱収入×100÷一日平均旅客取扱収入全局計
連帶旅客収入	總旅客運賃（含寝臺、急行料金） 一等															當該局接續ノ連帶線發省線内輸送ニ對スル運賃（含航路収入）
	總旅客運賃（含寝臺、急行料金） 二等															
	總旅客運賃（含寝臺、急行料金） 三等															
	總旅客運賃（含寝臺、急行料金） 計															
	手荷物運賃															
	小荷物運賃															
	郵便物運賃、入場料、雜収															
	合計															
一日平均連帶旅客収入																連帶旅客収入÷其ノ月又ハ年度日數
連帶旅客支出	總旅客運賃（含寝臺、急行料金） 一等															當該局發連帶線内輸送ニ對スル運賃
	總旅客運賃（含寝臺、急行料金） 二等															
	總旅客運賃（含寝臺、急行料金） 三等															
	總旅客運賃（含寝臺、急行料金） 計															
	手荷物運賃															
	小荷物運賃															
	郵便物運賃、入場料、雜収															
	合計															
一日平均連帶旅客支出																連帶旅客支出÷其ノ月又ハ年度日數
旅客諸拂戻金																當該局ニテ取扱ヒタル諸拂戻金
一日平均旅客諸拂戻金																旅客諸拂戻金÷其ノ月又ハ年度日數
差引旅客収入	總旅客運賃（含寝臺、急行料金） 一等															（旅客取扱収入＋旅客連帶収入）－（旅客連帶支出＋旅客諸拂戻金）
	總旅客運賃（含寝臺、急行料金） 二等															
	總旅客運賃（含寝臺、急行料金） 三等															
	總旅客運賃（含寝臺、急行料金） 計															
	手荷物運賃															
	小荷物運賃															
	郵便物運賃、入場料、雜収															
	合計															
一日平均旅客収入																差引旅客収入÷其ノ月又ハ年度日數
航路旅	旅客輸送人員 一等	人	人													船舶ニテ輸送シタル人員ニシテ下記ノモノヲ含ム 1. 船舶ノミニテ輸送ノモノ 2. 船車連絡輸送ノモノ
	旅客輸送人員 二等															
	旅客輸送人員 三等															
	旅客輸送人員 計															
	一日平均旅客輸送人員															旅客輸送人員÷其ノ月又ハ年度日數
	手荷物箇數	箇	箇													船舶ニテ輸送シタル數量ニシテ下記ノモノヲ含ム 1. 船舶ノミニテ輸送ノモノ
	小荷物箇數															
	郵便物箇數															

種別 ＼ 局別	本年度	前年度比較増減	全局	省線鉄道局	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	算式其他
			円	円													
旅客取扱収入	総旅客運賃（含寝台、急行料金）	一等															取扱収入トハ省線各驛ニ於テ發送ノ取扱ヲ爲シタル旅客及荷物ニ對スル總收入（含航路收入）ニシテ現金收入ノ有無ニ關係ナキモノトス 但シ省及局ニテ取扱計算シタルモノヲモ含ム
		二等															
		三等															
		計															
	定期旅客運賃（内譯）	二等															
		三等															
		計															
	手荷物運賃																
	小荷物運賃																
	郵便物運賃																
	入場料																
	雜收																
	合計																
一日平均旅客取扱收入																	旅客取扱收入÷其ノ月又ハ年度日數
同上局別割合			%	%													局別一日平均旅客取扱收入×100÷一日平均旅客取扱收入全局計
連帶旅客收入	總旅客運賃（含寝台、急行料金）	一等	円	円													當該局接續ノ連帶線發省線内輸送ニ對スル運賃（含航路收入）
		二等															
		三等															
		計															
	手荷物運賃																
	小荷物運賃																
	郵便物運賃、入場料、雜收																
	合計																
一日平均連帶旅客收入																	連帶旅客收入÷其ノ月又ハ年度日數
連帶旅客支出	總旅客運賃（含寝台、急行料金）	一等															當該局發連帶線内輸送ニ對スル運賃
		二等															
		三等															
		計															
	手荷物運賃																
	小荷物運賃																
	郵便物運賃、入場料、雜收																
	合計																
一日平均連帶旅客支出																	連帶旅客支出÷其ノ月又ハ年度日數
旅客諸拂戻金																	當該局ニテ取扱ヒタル諸拂戻金
一日平均旅客諸拂戻金																	旅客諸拂戻金÷其ノ月又ハ年度日數
差引旅客收入	總旅客運賃（含寝台、急行料金）	一等															（旅客取扱收入＋旅客連帶收入）－（旅客連帶支出＋旅客諸拂戻金）
		二等															
		三等															
		計															
	手荷物運賃																
	小荷物運賃																
	郵便物運賃、入場料、雜收																
	合計																
一日平均旅客收入																	差引旅客收入÷其ノ月又ハ年度日數
航路旅客運輸成績	旅客輸送人員	一等	人	人													船舶ニテ輸送シタル人員ニシテ下記ノモノヲ含ム 1. 船舶ノミニテ輸送ノモノ 2. 船車連絡輸送ノモノ
		二等															
		三等															
		計															
	一日平均旅客輸送人員																旅客輸送人員÷其ノ月又ハ年度日數
	手荷物箇數		箇	箇													船舶ニテ輸送シタル數量ニシテ下記ノモノヲ含ム 1. 船舶ノミニテ輸送ノモノ 2. 船車連絡輸送ノモノ
	小荷物箇數																
	郵便物箇數																
	旅客收入 旅客運賃（含寝台料金）	一等	円	円													別ニ定ムル計算方法ニ依リ算出シタル航路運賃 （計算方法ハ運輸統計事務取扱細則第百四條及第百六條參照） 局別航路收入中ニハ他局ノ取扱ニ係ル航路收入ヲモ含ム
		二等															
		三等															
		計															
	手荷物運賃																
	小荷物運賃																
	郵便物運賃																
	合計																
	一日平均旅客收入																旅客收入÷其ノ月又ハ年度日數

備考　△印ハ本年度ノ減ヲ示ス

（水道法の目的）

第一条　この法律は、水道の布設及び管理を適正かつ合理的ならしめ、水道を計画的に整備し、及び水道事業を保護し、及び助成することによつて、清浄にして豊富、低廉な水の供給を図り、もつて公衆衛生の向上と生活環境の改善とに寄与することを目的とする。

（定義）

第二条　この法律において「水道」とは、導管及びその他の工作物により、水を人の飲用に適する水として供給する施設の総体をいう。ただし、臨時に設けられるもの及び設置後政令で定める期間を経過しないものを除く。

２　この法律において「水道事業」とは、一般の需要に応じて水道により水を供給する事業をいう。ただし、給水人口が政令で定める数以下である水道のみによるものを除く。

３　この法律において「水道用水供給事業」とは、水道事業者に対して水道により水を供給する事業をいう。

４　この法律において「水道事業者」とは、第六条第一項の認可を受けて水道事業を経営する者をいう。

５　この法律において「水道用水供給事業者」とは、第二十六条第一項の認可を受けて水道用水供給事業を経営する者をいう。

６　この法律において「水道の布設工事」とは、水道の新設、増設又は改造のための工事をいう。

７　この法律において「給水装置」とは、需要者に水を供給するために水道事業者の施設した配水管から分岐して設けられた給水管及びこれに直結する給水用具をいう。

８　この法律において「給水装置工事」とは、給水装置の設置又は変更の工事をいう。

（水質基準）

第四条　水道により供給される水は、次に掲げる要件を具備するものでなければならない。

一　病原生物に汚染されたり、又は病原生物に汚染されたことを疑わせるような生物若しくは物質を含むものでないこと。

二　シアン、水銀その他の有毒物質を含まないこと。

三　銅、鉄、弗素、フェノールその他の物質を検出する場合であつても、それぞれ厚生大臣が定める量を超えて含まないこと。

四　異常な酸性又はアルカリ性を呈しないこと。

五　異臭味がないこと。

六　大腸菌群が検出されないこと。

七　濁度、色度、臭気、味、水素イオン濃度、一般細菌その他の水質について厚生大臣が定める基準に適合すること。

（水道事業の認可）

第六条　水道事業を経営しようとする者は、厚生大臣の認可を受けなければならない。

２　厚生大臣は、前項の認可の申請があつた場合において、その申請が次の各号に適合していると認めるときでなければ、認可をしてはならない。

一　給水人口及び給水量が、当該水道の計画給水区域の将来の人口及び需要の見通しに照らして適切なものであること。

二　水源の種別及び水質が、厚生省令で定める基準に適合するものであること。

三　取水施設、浄水施設及び送水施設が、当該水道の計画給水区域の地形及び地質の状況に照らして適切なものであること。

四　配水施設が、当該水道の計画給水区域の地形及び地質の状況並びに給水人口及び給水量に照らして適切なものであること。

五　水道事業を経営するのに必要な技術上の基準として厚生省令で定めるところに適合するものであること。

六　水道事業を経営するのに必要な経理的基礎が確実であること。

七　水道事業の開始の時期が適切であること。

３　厚生大臣は、第一項の認可をしようとするときは、あらかじめ、都道府県知事の意見を聴かなければならない。

４　厚生大臣は、第一項の認可をしようとするときは、あらかじめ、都道府県知事の意見を聴かなければならない。

（水道事業の変更の認可）

第八条　水道事業者は、第六条第一項の認可を受けた事項のうち厚生省令で定める重要なものを変更しようとするときは、厚生大臣の認可を受けなければならない。

２　厚生大臣は、前項の認可の申請があつた場合において、その申請が第六条第二項各号に適合していると認めるときでなければ、認可をしてはならない。

３　厚生大臣は、第一項の認可をしようとするときは、あらかじめ、都道府県知事の意見を聴かなければならない。

４　厚生大臣は、第一項の認可をしようとするときは、あらかじめ、都道府県知事の意見を聴かなければならない。

（水道事業の廃止の届出）

第九条　水道事業者は、水道事業を廃止しようとするときは、厚生省令で定めるところにより、あらかじめ、その旨を厚生大臣に届け出なければならない。

２　厚生大臣は、前項の届出があつたときは、その旨を都道府県知事に通知しなければならない。

（水道用水供給事業の認可）

第二十六条　水道用水供給事業を経営しようとする者は、厚生大臣の認可を受けなければならない。

２　厚生大臣は、前項の認可の申請があつた場合において、その申請が次の各号に適合していると認めるときでなければ、認可をしてはならない。

一　水源の種別及び水質が、厚生省令で定める基準に適合するものであること。

二　取水施設、浄水施設及び送水施設が、当該水道用水供給事業の給水区域の地形及び地質の状況に照らして適切なものであること。

三　水道用水供給事業を経営するのに必要な技術上の基準として厚生省令で定めるところに適合するものであること。

四　水道用水供給事業を経営するのに必要な経理的基礎が確実であること。

五　水道用水供給事業の開始の時期が適切であること。

３　厚生大臣は、第一項の認可をしようとするときは、あらかじめ、都道府県知事の意見を聴かなければならない。

４　厚生大臣は、第一項の認可をしようとするときは、あらかじめ、都道府県知事の意見を聴かなければならない。

（水道用水供給事業の変更の認可）

第二十八条　水道用水供給事業者は、第二十六条第一項の認可を受けた事項のうち厚生省令で定める重要なものを変更しようとするときは、厚生大臣の認可を受けなければならない。

２　厚生大臣は、前項の認可の申請があつた場合において、その申請が第二十六条第二項各号に適合していると認めるときでなければ、認可をしてはならない。

３　厚生大臣は、第一項の認可をしようとするときは、あらかじめ、都道府県知事の意見を聴かなければならない。

４　厚生大臣は、第一項の認可をしようとするときは、あらかじめ、都道府県知事の意見を聴かなければならない。

（水道用水供給事業の廃止の届出）

第二十九条　水道用水供給事業者は、水道用水供給事業を廃止しようとするときは、厚生省令で定めるところにより、あらかじめ、その旨を厚生大臣に届け出なければならない。

２　厚生大臣は、前項の届出があつたときは、その旨を都道府県知事に通知しなければならない。

貨物運賃	特別小口扱				
	小口扱				
	通扱				
	貸切扱				
	計				
純収入	石炭船積料				
	雑収				
	合計				
同上扱	貨物 特別小口扱	%	%		
	貨物 小口扱				
	貨物 特別小口扱				

定ノ為メ証憑書類ノ物件トンヲ計算シタルモノニシテ現金収入ト關係ナキモノトス其ノ算式ヲ示セハ次ノ如シ

（取扱収入＋連帯収入＋他局連絡運賃割賦収入）－（他局賃割連絡運賦支出＋連帯支出＋諸拂戻金＋航路収入）

他局連絡運賃割賦方法ハ二局以上ニ連絡シタル其ノ局ノ輸送粁ノ按分比率ヲ算出シ其ノ連絡運賃ヲ前記比率ニ乗シ其ノ局ノ収得額ヲ推計ス

但シ石炭船積料及雑収ハ連絡運賃ノ割賦計算ヲ爲サス

局別ノ純収入ハ月別ニ於ケル計算ヲ省略ス

貨物純収入	貨物運賃	特別小口扱																					定スル証憑書類ノ例ヲ以テ計算シタルモノニシテ現金収入ト關係ナキモノトス其ノ算式ヲ示セハ次ノ如シ （取扱収入＋連帯収入＋他局連絡運賃割賦収入）－（他局連絡運賃割賦支出＋連帯支出＋諸拂戻金＋航路収入） 他局連絡運賃割賦方法ハ二局以上ニ連絡シタル其ノ局ノ輸送粁ノ按分比率ヲ算出シ其ノ連絡運賃ヲ前記比率ニ乗シ其ノ局ノ収得額ヲ推計ス 但シ石炭船積料及雑収ハ連絡運賃ノ割賦計算ヲ爲サス 局別ノ純収入ハ月別ニ於ケル計算ヲ省略ス
		小口扱																					
		逓扱																					
		貸切扱																					
		計																					
	石炭船積料																						
	雑収																						
	合計																						
同上扱	貨物	特別小口扱	%	%																			
		小口扱																					
一逓一粁平均貨物収入	貨物運賃	特別小口扱																					貨物純収入÷貨物逓粁
		小口扱																					
		逓扱																					
		貸切扱																					
		計																					
	合計（石炭船積料及雑収含）																						

備考　△印ハ本年度ノ減ヲ示ス

（ノ四ヲ）ナ四ヲ

鉄道統計　第三編

様式

貨物運輸成績月報及同年報（成績第五號ノ甲）

貨物運輸成績月報（年報）（甲）

昭和　年　月（度）分

経理局調査課

種別＼局別		全局 本年度	全局 前年度比較増減	何々鐵道局 〃〃	〃	〃〃	〃	〃〃	〃	〃〃	〃	〃〃	〃	〃〃	〃	〃〃	〃	算式其他
貨物營業粁	期末	粁.分	粁.分															月末又ハ年度末ニ於ケル驛間告示粁ノ集計
	同上局別割合	%	%															局別營業粁×100÷全局營業粁
	平均	粁.分	粁.分															前期末粁＋{(本期間×開業當日ヨリ本期間ノ日數−廢止粁×期末迄ノ日數)÷本期間ノ日數}＝現在粁
	延長（期末）																	複線以上ノ營業線路ハ總テ單線粁ニ換算シテ算出シタルモノナリ
貨物列車粁		粁	粁															驛間運過列車回數、驛間粁ヲ乘シ其レニ混合列車ニ對スル推定貨物列車粁ヲ加算シタルモノ（推定貨物列車粁ノ計算方ハ運輸統計事務示規第二十三條參照）
一日平均貨物列車粁																		貨物列車粁÷其ノ月又ハ年度日數
一粁一日平均貨物列車粁		粁.分	粁.分															貨物列車粁÷（貨物平均營業粁×其ノ月又ハ年度日數）
延長一粁一日平均貨物列車粁																		貨物列車粁÷（貨物延長營業粁×其ノ月又ハ年度日數）
貨車延日車數		車	車															
貨車粁 積車	緩急車	粁	粁															貨車延日車數＝(A＋B＋C＋D＋E)－(F＋G＋H＋I) A. 前月末日現在車ニ對スル延日車數＝前月末日現在車數×本月ノ含日數 B. 新製車ニ對スル延日車數＝新製數×使用開始當日ヨリ月末迄ノ日數 C. 借入車ニ對スル延日車數＝借入車數×借入日數 D. 省線内運用ノ他有車ニ對スル延日車數＝他有車ノ省線内車輛粁÷前年度省線一車一日平均車輛粁 E. 有賃積貨ノ積合及代用車ニ對スル延日車數＝有賃積合及代用車粁÷前年度省線一車一日平均車輛粁 F. 廢車ニ對スル延日車數＝廢車數×使用廢止當日ヨリ月末迄ノ日數 G. 貸渡車ニ對スル延日車數＝貸渡車數×貸渡日數 H. 他線内運用ノ省有車ニ對スル延日車數＝省有車ノ他線内車輛粁÷前年度省線一車一日平均車輛粁 I. 無賃貸車ニ對スル延日車數＝無賃貸車粁÷前年度省線一車一日平均車輛粁 但シ年計ヘ月別計算ノ集計トス 驛間運過車數×驛間粁ヲ車輛ノ種類ヘ換算ヘ下記ニ依ル車輛換算規程第十三條ノ「ヤ、キ」記號車ヘニ輛可「ヤ、キ」記號車以外ハ一輛
緩急及代用車																		
貨切扱車																		
計																		
空車 緩急車																		
其他車																		
計																		
合計																		
同上種類別割合 積車 緩急車		%	%															種類別貨車粁×1000÷貨車粁合計
積合及代用車																		
貨切扱車																		
空車																		
一粁一日平均貨車粁		粁	粁															貨車粁÷（貨物平均營業粁×其ノ月又ハ年度日數）
延長一粁一日平均貨車粁																		貨車粁÷（貨物延長營業粁×其ノ月又ハ年度日數）
一列車平均連結貨車數 積車 緩急車		車.分	車.分															貨車粁÷貨物列車粁
積合及代用車																		
貨切扱車																		
空車																		
計																		
一車一日平均貨車粁		粁	粁															貨車粁÷貨車延日車數
貨物輸送噸數 特別小口扱		噸	噸															全局　省線内ニ輸送シタル總テノ噸數 局別　各局線内ヲ輸送シタル噸數ニシテ下記ノモノヲ含ム 1. 當該局取扱噸數（除　局分界驛設他局署ノ分） 2. 他局ヨリ到着シタル噸數 3. 當該局ヲ通過シテ他局ニ發着シタル噸數 4. 連帶線發當該局輸送噸數 輸送噸數ノ全局計カ局別ノ集計高ト符合セサルハ二局以上ニ跨リテ輸送サレタル噸數ノ重複數ヲ控除セルニ依ル
小口扱																		
噸扱																		
貨切扱																		
計																		
同上扱別割合 特別小口扱		%	%															扱別貨物輸送噸數×1000÷貨物輸送噸數計
小口扱																		
噸扱																		
貨切扱																		
一日平均貨物輸送噸數 特別小口扱		噸	噸															貨物輸送噸數÷其ノ月又ハ年度日數
小口扱																		
噸扱																		
貨切扱																		
計																		
貨物噸粁 特別小口扱		粁	粁															驛間通過噸數×驛間粁 噸粁トハ重量即チ噸數＝距離ヲ乘シタルモノニシテ一噸粁ハ即チ一粁輸送セラレタル貨物一噸ノ意ナリ從ツテ重量十噸ノ貨物ヲ十粁輸送シタル場合ニモ又百噸ノ貨物ヲ一粁輸送シタル場合ニモ其ノ噸粁ハ等シク百噸粁トナル故ニ貨物噸數＝其ノ輸送粁ヲ乘スルトキハ重量並距離ノ二要素ハ一ノ複合單位ニ簡約セラレテ眞ノ業務量ヲ表ハス統計單位トナルナリ
小口扱																		
噸扱																		
貨切扱																		
計																		
同上扱別割合 特別小口扱		%	%															扱別貨物噸粁×1000÷貨物噸粁計
小口扱																		
噸扱																		
貨切扱																		
一噸平均輸送粁 特別小口扱		粁.分	粁.分															貨物噸粁÷貨物輸送噸數
小口扱																		
噸扱																		
貨切扱																		
計																		
一粁一日平均貨物噸粁		粁	粁															貨物噸粁÷（貨物平均營業粁×其ノ月又ハ年度

貨切扱																			
一日平均貨物輸送噸數	特別小口扱	噸	噸																貨物輸送噸數÷其ノ月又ハ年度日數
	小口扱																		
	噸扱																		
	貨切扱																		
	計																		
貨物噸粁	特別小口扱	粁	粁																驛間通過噸數×驛間粁 噸粁トハ重量即チ噸數＝距離ヲ乘シタルモノニシテ一噸粁ハ即チ一粁輸送セラレタル貨物一噸ノ意ナリ從ツテ重量十噸ノ貨物ヲ十粁輸送シタル場合ニモ又百噸ノ貨物ヲ一粁輸送シタル場合ニモ其ノ噸粁ハ等シク百噸粁トナル故ニ貨物噸數ニ其ノ輸送粁ヲ乘スルトキハ重量竝距離ノ二要素ハ一ノ複合單位ニ簡約セラレテ眞ノ業務量ヲ表ハス統計單位トナルナリ
	小口扱																		
	噸扱																		
	貨切扱																		
	計																		
同上扱別割合	特別小口扱	%	%																扱別貨物噸粁×1000÷貨物噸粁計
	小口扱																		
	噸扱																		
	貨切扱																		
一噸平均輸送粁	特別小口扱	粁.分	粁.分																貨物噸粁÷貨物輸送噸數
	小口扱																		
	噸扱																		
	貨切扱																		
	計																		
一粁一日平均貨物噸粁		粁	粁																貨物噸粁÷（貨物平均營業粁×其ノ月又ハ年度日數）
延長一粁一日平均貨物噸粁																			貨物噸粁÷（貨物延長營業粁×其ノ月又ハ年度日數）
列車一粁平均貨物輸送噸數		噸.分	噸.分																貨物噸粁÷貨物列車粁
一車一日平均貨物噸粁		粁	粁																貨物噸粁÷貨車延日車數
積車一粁平均貨物輸送噸數	緩急、積合、代用車	噸.分	噸.分																貨物噸粁÷積貨車粁 但シ緩急、積合、代用車ニ對スル噸數ハ小口扱及特別小口扱ニ依ルモノトス
	貨切扱車																		
	計																		
貨車一粁平均貨物輸送噸數																			貨物噸粁÷貨車粁合計（空車粁ヲ含ム）
貨物純收入	貨物運賃 特別小口扱	圓	圓																純收入トハ取扱收入ニ基礎ヲ置キ運輸帳表ニ定メタル證憑書類ヲ材料トシテ計算シタルモノニシテ現金收入ト關係ナキモノトス其ノ算式ヲ示セハ次ノ如シ （取扱收入＋連帶收入＋他局連絡運賃割賦收入）－（他局連絡運賃割賦支出＋連帶支出＋諸拂戻金＋航路收入） 他局連絡運賃割賦方法ハ二局以上ニ連絡シタル其ノ局ノ輸送粁ノ按分比率ヲ算出シ其ノ連絡運賃ヲ前記比率ニ乘シ其ノ局ノ收得額ヲ推計ス 但シ石炭船積料及雜收ハ連絡運賃ノ割賦計算ヲ爲サス 局別ノ純收入ハ月別ニ於ケル計算ヲ省略ス
	小口扱																		
	噸扱																		
	貨切扱																		
	石炭船積料																		
	雜收																		
	合計																		
同上扱別割合	貨物運賃 特別小口扱	%	%																各種貨物純收入×1000÷貨物純收入計
	小口扱																		
	噸扱																		
	貨切扱																		
	石炭船積料及雜收																		
一日平均貨物純收入		圓	圓																貨物純收入÷其ノ月又ハ年度日數
同上局別割合		%	%																局別一日平均貨物純收入×100÷一日平均貨物純收入全局計
一粁一日平均貨物收入		圓	圓																貨物純收入÷（貨物平均營業粁×其ノ月又ハ年度日數）
延長一粁一日平均貨物收入																			貨物純收入÷（貨物延長營業粁×其ノ月又ハ年度日數）
列車一粁平均貨物收入		圓.錢	圓.錢																貨物純收入÷貨物列車粁
一車一日平均貨物收入																			貨物純收入÷貨車延日車數
積車一粁平均貨物收入	貨物運賃 緩急、積合、代用車	厘	厘																貨物純收入÷積貨車粁 但シ緩急、積合、代用車ニ對スル收入ハ小口扱及特別小口扱ニ依ルモノトス
	貨切扱車																		
	計																		
	合計（含石炭船積料及雜收）																		
貨車一粁平均貨物收入																			貨物純收入÷貨車粁合計
一噸平均貨物運賃	特別小口扱	圓.錢	圓.錢																貨物純收入÷貨物輸送噸數
	小口扱																		
	噸扱																		
	貨切扱																		
	計																		
一噸一粁平均貨物收入	貨物運賃 特別小口扱	錢.糸	錢.糸																貨物純收入÷貨物噸粁
	小口扱																		
	噸扱																		
	貨切扱																		
	計																		
	合計（含石炭船積料及雜收）																		

備考　△印ハ本年度ノ減ヲ示ス

| | | |

貨物収入	貨車貸切扱																					帝支間平貨物諸物戻金）
	石炭船積料及雑収																					
	計																					
一日平均貨物収入																						差引貨物収入÷其ノ月又ハ年度日數
航路貨物運輸成績	貨物輸送屯數	特別小口扱	箇	箇																		船舶ニテ輸送シタル屯數ニシテ下記ノモノヲ含ム 1. 船舶ノミニテ輸送ノモノ 2. 船車連絡輸送ノモノ
		小口扱																				
		屯扱																				
		貸切扱																				
		計																				
	一日平均貨物輸送屯數																					貨物輸送屯數÷其ノ月又ハ年度日數
	貨物運賃	特別小口扱	圓	圓																		別ニ定ムル計算方法ニ依リ算出シタル航路運賃（計算方法ハ運輸統計事務取扱細則第百四條及第百六條參照） 局別航路収入中ニハ他局ノ取扱ニ係ル航路収入ヲモ含ム
		小口扱																				
		屯扱																				
		貸切扱																				
		計																				
	一日平均貨物運賃																					貨物運賃÷其ノ月又ハ年度日數

備考　△印ハ本年度ノ減ヲ示ス

様式

運輸成績月報及同年報（成績第五號ノ乙）

貨物運輸成績月報（年報）（乙）

昭和　年　月（度）分　　經理局調査課

種別	局別	全局 本年度	全局 前年度又ハ比較増減	何々鐵道局	〃〃	〃〃	〃〃	〃〃	〃〃	〃〃	〃〃	〃〃	〃〃	〃〃	〃〃	算式其他
貨物取扱収入	貨物運賃 特別小口扱	圓	圓													取扱収入トハ省線各驛ニ於テ發送ノ取扱ヲ爲シタル貨物ニ對スル總収入（合航路収入）ニシテ現金収入ノ有無ニ關係ナキモノトス 但シ省及局ニテ取扱計算シタルモノヲモ含ム
	貨物運賃 小口扱															
	貨物運賃 運扱															
	貨物運賃 貸切扱															
	貨物運賃 計															
	石炭船積料															
	雜収															
	合計															
一日平均貨物取扱収入																貨物取扱収入÷其ノ月又ハ年度日數
同上局別割合		%	%													局別一日平均貨物取扱収入×100÷一日平均貨物取扱収入全局計
連帶貨物収入	貨物運賃 特別小口扱	圓	圓													當該局接續ノ連帶線發省線内輸送ニ對スル運賃（合航路収入）
	貨物運賃 小口扱															
	貨物運賃 運扱															
	貨物運賃 貸切扱															
	雜収															
	計															
一日平均連帶貨物収入																連帶貨物収入÷其ノ月又ハ年度日數
連帶貨物支出	貨物運賃 特別小口扱															當該局發連帶線内輸送ニ對スル運賃
	貨物運賃 小口扱															
	貨物運賃 運扱															
	貨物運賃 貸切扱															
	雜収															
	計															
一日平均連帶貨物支出																連帶貨物支出÷其ノ月又ハ年度日數
貨物諸拂戻金																當該局ニテ取扱ヒタル諸拂戻金
一日平均貨物諸拂戻金																貨物諸拂戻金÷其ノ月又ハ年度日數
差引貨物収入	貨物運賃 特別小口扱															（貨物取扱収入＋貨物連帶収入）－（貨物連帶支出＋貨物諸拂戻金）
	貨物運賃 小口扱															
	貨物運賃 運扱															
	貨物運賃 貸切扱															
	石炭船積料及雜収															
	計															
一日平均貨物収入																差引貨物収入÷其ノ月又ハ年度日數
航路貨物運輸成績 貨物輸送噸數	特別小口扱	噸	噸													船舶ニテ輸送シタル噸數ニシテ下記ノモノヲ含ム 1. 船舶ノミニテ輸送ノモノ 2. 船車連絡輸送ノモノ
	小口扱															
	運扱															
	貸切扱															
	計															
一日平均貨物輸送噸數																貨物輸送噸數÷其ノ月又ハ年度日數
貨物運賃	特別小口扱	圓	圓													別ニ定ムル計算方法ニ依リ算出シタル航路運賃（計算方法ハ運輸統計事務取扱細則第百四條及第百六條參照） 局別航路収入中ニハ他局ノ取扱ニ係ル航路収入ヲモ含ム
	小口扱															
	運扱															
	貸切扱															
	計															
一日平均貨物運賃																貨物運賃÷其ノ月又ハ年度日數

備考　△印ハ本年度ノ減ヲ示ス

第百二十四條　（削除）

第百二十五條　鐵道局經理課長ハ電車區間ニ於ケル旅客ノ輸送成績ヲ第百二十一條及第百二十二條ノ規定ニ準シ審査決定シ電車運輸成績月報及同年報ヲ調製シ月報ニ在リテハ翌々月末日迄ニ年報ニ在リテハ翌年度七月末日迄ニ經理局調査課長ニ提出スヘシ

【註】　營業粁及電車延日車ハ第二章第二節ノ規定ニ準シ算定スルモノトス

第百二十四條　（削除）

第百二十五條　鐵道局經理課長ハ電車區間ニ於ケル旅客ノ輸送成績ヲ第百二十一條及第百二十二條ノ規定ニ準シ審査決定シ電車運輸成績月報及同年報ヲ調製シ月報ニ在リテハ翌々々月末日迄ニ年報ニ在リテハ翌年度七月末日迄ニ經理局調査課長ニ提出スヘシ

【註】　營業粁及電車延日車ハ第二章第二節ノ規定ニ準シ算定スルモノトス

様式

（支廳長ヲ置ク廳ノ場合ニ於ケル支廳長ノ報告）

様式

電車運輸成績月報及同年報（成績第六號）

三〇糎

三六糎

電車運輸成績月報（年報）

經理局調査課長殿　　昭和　年　月（度）分　　鐵道局經理課長

種別＼線別		計 本年度	計 對前年度比較增減	何々線 〃〃	何々線 〃〃	〃〃〃 〃〃	〃〃〃 〃〃	〃〃〃 〃〃	〃〃〃 〃〃	〃〃〃 〃〃	〃〃〃 〃〃
旅客營業粁（期末）		粁.分	粁.分								
(1) 旅客平均營業粁											
(2) 電車列車粁（列車第一號表）		粁	粁								
一粁一日平均電車列車粁		粁.分	粁.分	(2)÷(1)	×日數						
(3) 電車延日車數		車	車								
(4) 電車粁（列車第一號表）		粁	粁								
一粁一日平均電車粁		粁.分	粁.分	(4)÷(1)	×日數						
一電車列車平均連結電車數		車.分	車.分	(4)÷(2)							
一車一日平均電車粁		粁	粁	(4)÷(3)							
(5) 旅客輸送人員	定期外旅客	人	人								
	定期旅客										
	計										
一日平均旅客輸送人員				(5)÷日數							
(6) 旅客輸送人粁	定期外旅客	粁	粁								
	定期旅客										
	計										
一人平均乘車粁	定期外旅客	粁.分	粁.分								
	定期旅客										
	計			(6)÷(5)							
一粁一日平均人粁		粁	粁	(6)÷(1)	×日數						
電車列車一粁平均輸送人員		人.分	人.分	(6)÷(2)							
電車一粁平均輸送人員				(6)÷(4)							
(7) 電車運賃	定期外旅客	円	円								
	定期旅客										
	計										
一日平均電車運賃				(7)÷日數							
一粁一日平均電車運賃				(7)÷(1)	×日數						
一車一日平均電車運賃				(7)÷(3)							
電車列車一粁平均電車運賃		錢	錢	(7)÷(2)							
電車一粁平均電車運賃		厘	厘	(7)÷(4)							
一人平均運賃	定期外旅客										
	定期旅客										
	計			(7)÷(5)							
一人一粁平均運賃	定期外旅客	糸	糸								
	定期旅客										
	計			(7)÷(6)							

備考　1. 電車專用各驛ト蒸氣列車ノミ運轉スル區間各驛トノ相互發著人員ハ電車驛ト該電車驛ニ最近ノ蒸氣列車停車驛間ノミ電車ニ依リタルモノト看做ス

2. 電車及蒸氣列車ノ停車スル驛相互ノ發著ハ全部電車ニ乘車セルモノト看做ス、但シ中央線ノ二等旅客ハ蒸氣列車ニ乘車セルモノトス

3. 一項及電車運轉區間ヲ通過シ蒸氣列車運轉區間各驛相互ニ發著スル旅客ノ電車ニ對スル運賃ハ不明ニ付、其ノ人粁ヲ基礎トシ推算シ括弧ニテ別記ス

4. 輸送人員ノ計カ各線ノ集計高ト符合セサルハ連線重複數ヲ控除セルコトニ依ル

5. △印ハ本年度ノ減ヲ示ス

第一節　通則

第百二十六條　本章ニ於ケル貨物ノ品種別ハ左ノ通トス

第一　主要貨物（貸切扱ニ係ルモノハ列記品目全部トシ小口扱ニ係ルモノハ○印ヲ又雑扱ニ係ルモノハ※印ヲ附シタル品目ニ限リ作成ス）

第一類　農産品

一　米　○
二　麥　○
三　大　豆○
四　雜　穀○
五　生　甘藷○
六　生　馬鈴薯○
七　生　野菜○
八　柑　橘○※
九　果　物類○※

第二類　林産品

八〇　丸　太　類
一一　木　材　類※
一二　木　炭○
一三　薪　○
一四　竹　※

第三類　鑛産品

一五　石　材※
一六　砂
一七　砂　利
一八　石　炭※
一九　骸　炭※
二〇　鑛　石
二一　石　灰
二二　鑛　物※

第一節　通　則

第百二十六條　本章ニ於ケル貨物ノ品種別ハ左ノ通トス

第一　主要貨物（貸切扱ニ係ルモノハ列記品目全部トシ小口扱ニ係ルモノハ○印ヲ又雑扱ニ係ルモノハ※印ヲ附シタル品目ニ限リ作成ス）

第一類　農産品

一　米　○
二　麥　○
三　大　豆○
四　雜　穀○
五　生　甘藷○
六　生　馬鈴薯○
七　生　野菜○
八　柑　橘○※
九　果　物　類○※
一〇　藁及藁製品

第二類　林産品

一一　木　材　類※
一二　木　炭○
一三　薪　○
一四　竹　※

第三類　鑛産品

一五　石　材※
一六　砂
一七　砂　利
一八　石　炭※
一九　骸　炭※
二〇　鑛　鑛
二一　石　灰
二二　鑛　物※

第三章　運輸統計
二三　機械油※
二五　鐵及鋼※
第四類　水産品
八一　海藻類○
二八　鹽乾魚介蝦類○
第五類　加工食料品
三〇　小麥粉○
三二　砂糖類○※
三四　醬油○
八二　漬物類○
第六類　嗜好品
三五　茶○※
三七　煙草○※
三九　麥酒○※
四一　燒酎及味淋※
第七類　肥飼料
四二　人造肥料○
四四　魚肥○
四六　飼料※
第八類　布帛類
四七　綿類○※
四九　綿織物○
五一　生糸○
五三　毛織物○
第九類　窯業品
五五　石灰※
五七　煉瓦※
五九　土器※
第十類　工産品
六一　パルプ
六三　紙和紙○※
六四　洋紙○※
六六　銅線○※
六八　漆器○
六九　機械類○※
七一　藥品類※
第十一類　畜産品
七二　肉類○
七四　牛毛
七六　豚
第三章　運輸統計
二四　石油類※
二六　銅※
二七　鹽○
二九　活鮮魚介蝦類○
三一　穀粉澱粉類○※
三三　味噌○
八四　酢○
八三　乾物○
三六　葉煙草○
三八　清酒○※
四〇　清涼飲料水類○※
四三　大豆粕○
四五　肥料○
四八　綿糸○
五〇　繭○
五二　絹織物○
五四　麻苧類
五六　セメント※
五八　陶磁器○※
六〇　硝子類及其ノ製品○※
六二　襤褸紙屑類
八五　新聞用捲取紙
六五　疊表類○
六七　鐵及鋼製品○※
八六　航空機
七〇　油脂蠟類及其ノ製品○※
七三　獸毛
七五　馬

第十二類　雜

七七　自　動　車

七九　鵞　卵○※

八八　國定教科書○

七八　菓　子　類○※

八七　灰　※

第二　割引貨物

イ　貨物運送規則別表貨物割引賃率表ノ品目別

ロ　臨時割引貨物

第三　特別扱貨物

イ　官用貨物

ロ　軍事供用令貨物

ハ　省用有賃貨物

A　建設費支辨

B　改良費支辨

C　用品及工作費支辨

ニ　小口混載貨物

ホ　天災事變等ノ場合ニ於ケル割引貨物

ヘ　同無賃貨物

第百二十七條　連帶運輸ニ係ル貨物運賃ハ小口扱、陋扱及貸切扱ニ係ルモノハ省線内運賃（航路運賃ヲ含ム）ヲ又特別小口扱ニ係ルモノハ省社通算運賃（又ハ合算額）ヲ計算スルモノトス

第百二十八條　同一連帶線ニシテ二鐵道局以上ニ省接續驛ヲ有スル左ノ連帶線ハ左記鐵道局内接續ト看做シ計算スルモノトス

一　北日本汽船株式會社カ代表スル手宮伏木、手宮七尾港間航路及伊勢鐵道株式會社線竝飯山鐵道株式會社線	名古屋鐵道局
二　南滿洲鐵道株式會社線、大阪商船株式會社臺灣航路及同大連航路	門司鐵道局
三　北日本汽船株式會社青森室蘭間航路	札幌鐵道局

第百二十九條　經理局調査課長ニ於テ左ノ書類ヲ調製シタルトキハ之ヲ公報ニ揭載ノ手續ヲ爲スヘシ

一　主要貨物發著噸數及運賃總括月報及同年報

二　主要貨物運輸成績年報

第百二十九條ノ二　經理局調査課長ハ左ノ事項ニ對シ貨物品種別統計ノ計算ニ必要ナル符號ヲ審査決定シ第一號乃至第七號ニ關スルモノハ決定ノ都度鐵道局經理課長ニ通報スヘシ

一　省線各驛

二　連帶線各驛

三　連帶關係

四　特定驛關係

五　主要貨物及割引貨物ノ品目、特別扱貨物ノ種別

六　扱種別

七　運輸事務所

八　道、府、縣等

【註】一　本條第一號乃至第七號ノ符號ハ豫メ之ヲ取纏メ一册ノ符號表ト爲シ置クモノトス

連　帶　線　　鐵　道　局

二　符號ノ追加又ハ更改ヲ爲シタルトキハ之ヲ鐵道局經理課長ニ速報スルモノトス
三　貨物通知書ニ記載スヘキ發驛符號ニ就テハ鐵道局經理課ニ於テ相當手配ヲ爲スモノトス

第二節　主要貨物

第一款　鐵道輸送主要貨物噸數、噸粁及運賃

第百三十條　鐵道局經理課長ハ毎月自局内各驛取扱ニ係ル主要貨物ノ數量及運賃ヲ貨物通知書ニ依リ發著關係驛別、品目別、扱種別（小口扱、噸扱及貨切扱以下同シ）毎ニ審査計算シ貨物數量及運賃扱萃表ヲ調製スヘシ

【註】一　有賃扱ニ係ルモノノミヲ計算スルモノトス
二　貨物數量及運賃扱萃表ハ第五十三條ノ貨物噸數及噸粁ヲ計算スル場合ノ扱萃表ト併用スルモノトス
三　連帶線著ニ係ルモノハ連帶線ノ驛別ニ扱萃スルモノトス
四　第二號ニ依リ扱萃表ハ併用スルモ主要貨物以外（其ノ他）ノモノニ對シテハ運賃ノ扱萃及前號ノ驛別扱萃ハ省略スルコトヲ得

様式

貨物數量及運賃扱萃表（品種第1號）

二七糎

二〇糎

貨物數量及運賃扱萃表

昭和　年　月分　發驛　局　線　驛　著驛　局　線　驛

發驛　局　線　驛　　連帶關係　　特定驛關係

品目符號 ＼ 扱種別 ＼ 數量運賃	小口扱（1）		貨切扱（1）		噸扱（2）	
	噸數	運賃	噸數	運賃	噸數	運賃
(品目)種別統計用 30	12. 15. 21. 千噸（5百噸）	91. 85. 70 錢（2圓）	噸	錢	噸	錢
31	記（〃）	入例）	（〃）	（圓）	（〃）	（圓）
其ノ他			（〃）	（〃）	（〃）	（〃）

昭和　年　月分　發驛

著驛

經由

集計統計用 扱種別	小口扱			噸扱		貨切扱
合計	特別小口扱					
	噸數 千噸（百噸）	運賃 錢（圓）	噸數 千噸（百噸）	運賃 錢（圓）	噸數 千噸（百噸）	運賃 錢（圓）
合計						

備考　1. 其ノ他ハ主要品以外ノモノニシテ運賃ノ扱萃ヲ省略スルコトヲ得、特別小口扱ノ運賃ニ付亦同シ
2. 月計ニ於テ小口扱及特別小口扱ノ噸數ハ百噸單位ニ又運賃ハ圓單位ニ記入スルコト
3. 運賃ハ省線内運賃（特別小口扱ハ省社通算運賃）ヲ記入スルコト

第百三十一條　前條ニ依リ貨物數量及運賃抜萃表（以下抜萃表ト謂フ）ヲ調製シタルトキハ抜萃表所定欄ニ左記事項ニ對スル符號ヲ記入スルモノトス但シ運賃カ圓未滿（月計ニ於テ四捨五入ノ結果）ノモノ、航路區間ノミ輸送ノモノ及省線内ヲ輸送セサルモノニ對シテハ記入スルヲ要セス

一　發驛名及著驛名
一ノ二　發事務所
二　連帶關係
三　特定驛關係
四　主要貨物品目
五　扱種別
前項第四號ノ符號ハ數量及運賃ヲ抜萃スルト同時ニ記入スルモノトス

【註】省線内ヲ輸送セサルモノトハ省社接續驛發當該連帶線著ノ如キ場合ヲ謂フ

第百三十二條　前條ノ符號ハ左ノ各號ニ依リ之ヲ記入スルモノトス

一　驛名ニ對シテハ局、線、驛ノ順序ニ記入スルコト但シ驛カ連帶線ニ屬スル場合ニ於ケル局ハ當該連帶線省接續驛主管鐵道局ノ又線ハ當該連帶線ノ各符號ヲ記入スルコト
一ノ二　發事務所ニ對シテハ發驛主管ノ運輸事務所ニ對スル符號ヲ記入スルコト
二　連帶關係ニ對シテハ連帶運輸ノ態様毎ニ其ノ符號ヲ記入スルコト
三　特定驛關係ニ對シテハ六大都市所屬驛發著ニ係ルモノニ其ノ符號ヲ記入スルコト
四　品目ニ對シテハ第百二十六條ニ定ムル品目ニ其ノ符號ヲ記入スルコト

【註】六大都市所屬驛ハ驛名符號表中※印ヲ附シタル驛トス

第百三十三條　鐵道局經理課長ハ前二條ニ依リ符號ヲ記入シタルトキハ抜萃表ニ依リ一發著關係驛毎ノ品目別數量及運賃竝符號其ノ他ノ關係事項ヲ**カード**ニ穿孔（穿孔機ニ依リ以下同シ）シ原**カード**ヲ調製スヘシ

【註】一　符號其ノ他ノ關係事項トハ月別、發驛、發事務所、連帶關係、特定驛關係、著驛、主要品目、扱種別ヲ謂フ
二　**カード**ハ小口扱ト貸切扱トヲ同一表ニ、通扱ハ別表トスルコト

様式　原**カード**（品種第一號）

年月別	發著驛	著發驛	驛間粁程	發事務所	發 局	發 線	發 驛	連帶關係	特定關係	主要品目	扱種別	小口扱又ハ通扱 噸又ハ個數	小口扱又ハ通扱 運賃	貸切扱 噸數	貸切扱 運賃
1	2 3	4 5	6 7 8 9	10	11	12	13 14	15 16	17	18	19	20 21	22 23	24	25 26	27	28 29 30 31	32 33 34 35 36	37 38 39 40	41 42 43 44 45
原**カード**	77	77	7777	7	7	77	77	7	7	77	7	7777	77777	7777	77777
	88	88	8888	8	8	88	88	8	8	88	8	8888	88888	8888	88888
	99	99	9999	9	9	99	99	9	9	99	9	9999	99999	9999	99999
	00	00	0000	0	0	00	00	0	0	00	0	0000	00000	0000	00000
	11	11	1111	1	1	11	11	1	1	11	1	1111	11111	1111	11111
	22	22	2222	2	2	22	22	2	2	22	2	2222	22222	2222	22222
	33	33	3333	3	3	33	33	3	3	33	3	3333	33333	3333	33333
	44	44	4444	4	4	44	44	4	4	44	4	4444	44444	4444	44444
	55	55	5555	5	5	55	55	5	5	55	5	5555	55555	5555	55555
	66	66	6666	6	6	66	66	6	6	66	6	6666	66666	6666	66666
	77	77	7777	7	7	77	77	7	7	77	7	7777	77777	7777	77777
	88	88	8888	8	8	88	88	8	8	88	8	8888	88888	8888	88888
	99	99	9999	9	9	99	99	9	9	99	9	9999	99999	9999	99999

備考　1. 小口扱及貸切扱ハ同一**カード**ニ穿孔スルモノトス
2. 年計**カード**ハ本樣式通トス但シ小口扱重量ハ噸ヲ單位トスルコト

第百三十四條　前條ニ依リ原**カード**ヲ調製シタルトキハ穿孔方ノ正否ヲ確認スル爲**カード**一葉毎ニ穿孔事項ヲ檢定（檢定機ニ依リ以下同シ）スルヲ要ス

【註】一　檢定ハ檢定機ニ依ラス他ノ方法（例ヘハ讀合照合ノ如キ）ニ依ルコトヲ得

二　檢定ノ結果穿孔ニ誤謬アリタルトキハ別ニ正當**カード**ヲ調製スルモノトス

第百三十五條　鐵道局經理課長ハ前二條ニ依リ調製シタル原**カード**ヲ別ニ定ムル**カード**輸送手續ニ依リ翌月十五日迄ニ經理局調査課長ニ提出スヘシ

【註】一　別ニ定ムル**カード**輸送手續トハ大正十五年十二月達第一〇四六號ニ依ル貨物審査統計用**カード**輸送手續ヲ謂フ

二　原**カード**ハ**カード**收納函一箇分ヲ調製次第順次提出スルコトヲ得

三　收納函發送ノ都度經理局調査課（分室）宛發送箇數ヲ電報ニテ報告スルコト

第百三十六條　經理局調査課長ハ毎月連帶線發送ニ係ル主要貨物ノ數量及運賃ヲ連帶計算書類ニ依リ第百三十條ノ規定ニ準シ審査計算シ連帶線發貨物數量及運賃拔萃表（以下拔萃表ト謂フ）ヲ調製スヘシ

【註】第百三十條ノ註參照

様式

連帶線發貨物數量及運賃拔萃表（品種第三號）

第百三十七條　前條ニ依リ拔萃表ニ準ス

貨物數量及運賃拔萃表ヲ調製シタルトキハ符號ノ記入方ニ關シテハ第百三十一條及第百三十二條ノ規定ニ又穿孔及檢定方ニ關シテハ第百三十三條及第百三十四條ノ規定ニ準シ原**カード**ヲ調製スルモノトス

【註】原**カード**ハ第百三十三條ノ樣式ト同樣トス

第百三十八條　經理局調査課長ハ毎月第百三十五條ノ原**カード**及前條ノ原**カード**中特定驛ニ關スルモノニ基キ主要貨物ノ噸數及運賃ヲ鐵道局毎ニ左ノ各號ニ依リ審査計算シ特定驛（六大都市）發著主要貨物噸數及運賃月報ヲ調製シ翌月二十日ニ迄ニ運輸局貨物課ニ送付スヘシ

一　原**カード**中ヨリ特定驛ニ關スルモノヲ分類（分類機ニ依ル以下同シ）スルコト

二　發送ニ係ルモノハ品目毎ノ發驛別、扱種別ニ分類シ其ノ項目毎ノ數量及運賃ヲ印刷製表スルコト

三　到著ニ係ルモノハ品目毎ノ著驛別、扱種別ニ分類シ其ノ項目毎ノ數量ヲ印刷製表スルコト

【註】一　第二號ノ月報ハ翌月末日迄ニ又年報ハ翌年三月末日迄ニ調製スルモノトス

二　關係ノ向トハ本省關係局課、監察官、鐵道局關係課、運輸事務所及驛等ヲ謂フ但シ第一號ノ月報ハ運輸局貨物課ノミトス

三　特定驛發著ニ關スル主要品目ハ別ニ定ム

様式

特定驛（六大都市）發著主要貨物噸數及運賃月報（品種第四號）

特定驛（六大都市）發著主要貨物噸數及運賃月報

昭和　年　月分　　經理局調査課

品目	種別	發						着					
		噸數						運賃					
都市別	符號	扱種別	小口扱	扱貨切扱	計	小口扱	扱貨切扱	計	小口扱	扱貨切扱	計	小口扱	扱貨切扱	計
		名	噸	噸	噸	圓	圓	圓	噸	噸	噸	圓	圓	圓
東京	1. 01. 01	東京（記入例）												
〃	1. 01. 04	汐留												
〃	〃	〃												
〃	〃	〃												
計														
〃														
〃														
〃														

第百三十九條　經理局調査課長ハ毎月第百三十五條及第百三十七條ノ原**カード**ニ基キ左ノ各號ニ依リ主要貨物月計**カード**原表（發表ト著表ニ區分）ヲ調製スヘシ

一　發送ニ係ルモノハ品目毎ノ發事務所別、發驛別（連帶線ハ線別）扱種別ニ分類シ其ノ項目毎ノ數量及運賃ヲ印刷製表スルコト

二　到著ニ係ルモノハ品目毎ノ著驛別（連帶線ハ線別）扱種別ニ分類シ其ノ項目毎ノ數量ヲ印刷製表スルコト

三　前號ノ印刷製表ヲ爲シタルトキハ著事務所ニ對スル符號ヲ記入スルコト

【註】　特定驛發著ニ關スル主要品目ハ別ニ定ム

様式

主要貨物月計**カード**原表（品種第五號）

主要貨物月計**カード**原表

昭和　年　月分

月別	發事務所	發驛	連帶關係	著事務所	著驛	主要品種別	扱種別	小口扱又ハ混扱		貸切扱	
								函數又ハ個數	運賃	噸數	運賃
									圓		圓

備　考　小口扱重量ハ瓲單位ニ改ムルコト

第百四十條　前條ニ依リ主要貨物月計**カード**原表ヲ調製シタルトキハ第百三十三條及第百三十四條ノ規定ニ準シ月計**カード**ヲ調製スヘシ

様式

月計**カード**（品種第六號）

連帶關係	事務所	驛		主要品別	月	發							到						着					
		局	扱驛			小口扱	貨車切扱	扱	貨車切扱				小口扱	貨車切扱	扱	貨車切扱			小口扱	貨車切扱	扱	貨車切扱		
1	2	3	4 5	6 7	8 9	10	11 12 13 14 15 16	17 18 19 20 21	22 23 24 25 26 27 28	29 30 31 32 33	34 35 36 37 38	39 40 41 42 43 44 45												
0	0	0	00	00	0	0000000	0000000	0000000	0000000	0000000	0000000	0000000												
1	1	1	11	11	1	1111111	1111111	1111111	1111111	1111111	1111111	1111111												
2	2	2	22	22	2	2222222	2222222	2222222	2222222	2222222	2222222	2222222												
3	3	3	33	33	3	3333333	3333333	3333333	3333333	3333333	3333333	3333333												
4	4	4	44	44	4	4444444	4444444	4444444	4444444	4444444	4444444	4444444												
月	5	5	55	55	5	5555555	5555555	5555555	5555555	5555555	5555555	5555555												
計	6	6	66	66	6	6666666	6666666	6666666	6666666	6666666	6666666	6666666												
カ	7	7	77	77	7	7777777	7777777	7777777	7777777	7777777	7777777	7777777												
ー	8	8	88	88	8	8888888	8888888	8888888	8888888	8888888	8888888	8888888												
ド	9	9	99	99	9	9999999	9999999	9999999	9999999	9999999	9999999	9999999												

第百四十條ノ二　經理局調査課長ハ毎月及毎年ニ於ケル主要貨物ノ噸數ヲ前條ノ月計**カード**ニ依リ審査計算シ左ノ書類ヲ調製ノ上第一號ノ月報ニ在リテハ翌々月十五日迄ニ年報ニ在リテハ翌年三月末日迄ニ關係ノ向ニ送付スヘシ

一　主要貨物（品目本位）統計月報及同年報

二　主要貨物驛別發着噸數月報及同年報

【註】　第一號ノ月報ハ翌月末日迄ニ又年報ハ翌年三月末日迄ニ調製スルモノトス

様式

主要貨物(品目本位)統計月報及同年報（品種第七號）

主要貨物(品目本位)統計月報(年報)

品目＿＿＿＿＿＿　昭和　年　月分　經理局

驛名	發送 小口扱	發送 運扱	發送 貸切扱	發送 計	到著 小口扱	到著 運扱	到著 貸切扱	到著 計	驛名
新橋運輸事務所	噸	噸	噸	噸	噸	噸	噸	噸	上野運輸事務所
東海道本線	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	東北本線
●東京（記入例）	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	秋葉原
●有樂町（〃）	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	●上野（〃）
計	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	計
									局計

備考　●印ハ旅客專用驛ヲ示ス

様式

主要貨物驛別發著噸數月報及同年報（品種第八號）

主要貨物驛別發著噸數月報(年報)

符號＿＿＿＿　驛名＿＿＿＿　昭和　年　月分　經理局調查課

符號	品目	發送 小口扱	發送 運扱	發送 貸切扱	發送 計	到著 小口扱	到著 運扱	到著 貸切扱	到著 計	〃
1	米	噸	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
2	麥類	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
3	大豆	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	（記入例）	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃

第百四十條ノ三　前條ノ主要貨物発着噸数ハ左ノ各號ニ依リ計算スルモノトス但シ年計ハ月計**カード**一箇年分ヲ取纏メ計算スルモノトス

一　品目本位ノモノハ品目毎ノ事務所別、驛別（連帶線ハ線別）ニ分類シ其ノ項目毎ノ數量ヲ印刷製表スルコト

二　驛別ノモノハ事務所別、驛別、品目別ニ分類シ其ノ項目毎ノ數量ヲ印刷製表スルコト

第百四十一條　經理局調査課長ハ第百三十九條ノ書類ニ依リ省全線及鐵道局別ノ主要貨物發着噸数及運賃ヲ總括審査決定シ主要貨物發着噸数及運賃總括月報及同年報ヲ調製スベシ

様式

主要貨物發着噸數及運賃總括月報及同年報（品種第九號）

主要貨物發着噸數及運賃總括月報（年報）

昭和　年　月分　　經理局

| 局別 / 發着別 / 種別 / 品目別 | | 鐵道局 | | |

第百四十二條　前條ノ主要貨物發著噸數及運賃ハ左ノ各號ニ依リ計算スルモノトス

一　鐵道局別、品目別、扱種別毎ニ噸數及運賃ヲ計算スルコト但シ到著ニ係ルモノハ運賃ヲ計算セサルコト

二　噸數及運賃ニ對シテハ前年比較增減ヲ算定スルコト

三　省全線ニ於ケル品目別、發送噸數及運賃ノ總貨物ニ對スル萬分比率竝同噸數ニ對シテハ更ニ品目別ニ前年同期ヲ百トシタル指數ヲ算定スルコト

第百四十三條　經理局調査課長ハ原**カード**一箇年分ニ基キ左ノ各號ニ依リ主要貨物年計**カード**原表ヲ調製スヘシ

一　原**カード**ヲ發驛別、著驛別、品目別、扱種別ニ分類シ其ノ項目毎ノ數量及運賃ヲ印刷製表スルコト

二　府縣別符號及發著驛間粁程（粁未滿ノ端數アルトキハ粁ニ四捨五入シ以下之ニ倣フ）ヲ記入スルコト

様式

主要貨物年計**カード**原表（品種第十號）

主要貨物年計**カード**原表

昭和　　年分

發府縣	著府縣	驛間粁程	發驛	連帶關係	著驛	主要品	扱種別	小口扱又ハ通扱		貸扱切	
								粁又ハ噸數（百粁又ハ噸）	運賃（圓）	噸數（噸）	運賃（圓）

備考　小口扱重量ハ噸單位ニ改ムルコト

第百四十四條　前條ニ依リ主要貨物年計**カード**原表ヲ調製シタルトキハ第百三十三條及第百三十四條ノ規定ニ準シ年計**カード**ヲ調製スヘシ

【註】一　年計**カード**ハ原**カード**ト同一様式トス

二　穿孔事項ハ原**カード**ノ場合ノ外更ニ府縣別符號、驛間粁程等ヲ穿孔スルモノトス

第百四十五條　經理局調査課長ハ毎年鐵道局別ニ主要貨物ノ噸數、噸粁及運賃ヲ前條ノ年計**カード**ニ依リ總括審査決定シ主要貨物運輸成績年報及主要貨物粁別噸數、噸粁及運賃年報ヲ調製シ運輸成績年報ニ在リテハ翌年八月末日迄ニ粁別、噸數、噸粁及運賃年報ニ在リテハ翌年九月末日迄ニ關係ノ向ニ送付スヘシ

様式

主要貨物運輸成績年報（品種第十一號）

主要貨物運輸成績年報

鐵道局又ハ全局　　昭和　年分　　經理局

種別 / 品目別 / 品類	噸（A）數 本年	噸（A）數 前年比較増減	噸（B）粁	運（C）賃	一噸平均輸送粁（B）÷（A）	一噸平均運賃（C）÷（A）	一粁平均運賃（C）÷（B）
小口扱			粁	圓	粁	厘	毛
車扱			〃	〃	〃	〃	〃
貨物扱計			〃	〃	〃	〃	〃

備考　1. 本表ハ省及連帶鉄路ニシテ省線ヲ輸送スルモノヲ含ム
2. 運賃ハ省扱額ノミヲ計上ス
3. △印ハ本年ノ減ヲ示ス

様式

主要貨物粁別噸數噸粁及運賃年報（品種第十二號）

主要貨物粁別噸數噸粁及運賃年報

鐵道局又ハ全局

噸數ノ分　昭和　年分　經理局調査課

符號	品目別	扱種別	區劃	何粁迄										合計
		小口扱		噸	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
		噸扱		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
		貨切扱												
		計												
		貨切扱												
		小口扱												
		噸扱												
		貨切扱												
		計												
	合計	〃		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃

備考　噸粁及運賃ノ分ハ本表ニ準シ其ノ單位ハ噸粁ハ粁、運賃ハ圓トス

第百四十六條　前條ノ主要貨物運輸成績統計及粁別噸數、噸粁及運賃ハ鐵道局別ニ左ノ各號ニ依リ計算スルモノトス

一　運輸成績ハ左記ニ依リ計算スルコト

イ　第二號ノ書類ニ依リ鐵道局別、品目別、扱種別毎ニ噸數、噸粁及運賃ヲ算定スルコト

ロ　一噸平均輸送粁、一噸平均運賃、一噸一粁平均運賃ヲ算定スルコト

ハ　各計數及各平均數ノ前年比較增減ヲ算定スルコト

二　粁別噸數、噸粁及運賃ハ左記ニ依リ計算スルコト

イ　年計**カード**ヲ鐵道局別、品目別、扱種別、驛間粁別ニ分類シ其ノ項目毎ノ噸數及運賃ヲ印刷製表スルコト

ロ　噸數ニ驛間粁程ヲ乘シ噸粁ヲ算定スルコト

ハ　左ノ粁區分毎ニ噸數、噸粁及運賃ヲ計算スルコト

十粁迄、二十粁迄、三十粁迄、四十粁迄、五十粁迄、六十粁迄、八十粁迄、百粁迄、百二十五粁迄、百五十粁迄、百七十五粁迄、二百粁迄、二百五十粁迄、三百粁迄、三百五十粁迄、四百粁迄、四百五十粁迄、五百粁迄、六百粁迄、七百粁迄、八百粁迄、九百粁迄、千粁迄、千二百粁迄、千四百粁迄、千六百粁迄、千六百一粁以上

第百四十七條　經理局調査課長ハ年計**カード**ニ依リ主要貨物ノ發著關係驛別噸數ヲ審査決定シ左ノ各號ニ依リ主要貨物發驛對著驛別噸數年報及同著驛對發驛別噸數年報ヲ調製シ翌年十月末日迄ニ關係ノ向ニ送付スヘシ

一　主要貨物發驛對著驛別噸數ハ年計**カード**ヲ發驛別、品目別、扱種別、著驛別ニ分類シ其ノ項目毎ノ噸數ヲ印刷製表スルコト

二　主要貨物著驛對發驛別噸數ハ年計**カード**ヲ著驛別、品目別、扱種別、發驛別ニ分類シ其ノ項目毎ノ噸數ヲ印刷製表スルコト

様式

主要貨物發驛對著驛別屯數年報（品種第十三號）

主要貨物發驛對著驛別屯數年報

發驛　　昭和　　年分　　經理局調査課

品目	著驛	屯數 小口扱	屯扱	貨切扱	計	品目	著驛	屯數 小口扱	屯扱	貨切扱	計
米	田端	屯	〃	〃	〃			屯	〃	〃	〃
	川口町	（記入例）									
	浦和										
	〃										
	計										
麥類	田端										
	大宮										
	〃										

様式

主要貨物著驛對發驛別屯數年報（品種第十四號）

主要貨物著驛對發驛別屯數年報

昭和　　年分　　經理局調査課

	發驛符號	連帶關係	著驛符號	品目符號	扱種別	屯數 小口扱又ハ屯扱	貨切扱
						屯	屯

第二款　航路輸送主要貨物噸數

第百四十八條　鐵道局經理課長ハ毎月自局内各驛取扱ニ係ル航路輸送ノ主要貨物數量ヲ貨物通知書ニ依リ航路毎ニ上下別、品目別、扱種別ニ審査計算シ主要貨物航路輸送數量抜萃月報ヲ調製シ翌月十八日迄ニ經理局調査課長ニ提出スヘシ

前項ノ場合ニ於テ航路ノミ輸送ニ係ル數量ハ相當欄ニ括弧ヲ附シ別記スルモノトス

様式

主要貨物航路輸送數量抜萃月報（品種第十五號）

二七糧

主要貨物航路輸送數量抜萃月報

經理局調査課長殿　　鐵道局經理課長

昭和　年　月分　　航路

二七〇糧

上下別	下り						上り					
品目符號 扱種別	小口扱		廻扱		貸切扱		小口扱		廻扱		貸切扱	
	千噸（百瓲）	瓲（噸）	瓲（噸）		瓲（噸）		千噸（百瓲）	瓲（噸）	瓲（噸）		瓲（噸）	
	〃	〃	〃		〃		〃	〃	〃		〃	
	〃	〃	〃		〃		〃	〃	〃		〃	
	〃	〃	〃		〃		〃	〃	〃		〃	
	〃	〃	〃		〃		〃	〃	〃		〃	
	〃	〃	〃		〃		〃	〃	〃		〃	

備考　1. 航路ノミ輸送ノモノハ（　）ヲ附シ別記スルコト
2. 小口扱運數ハ月計ニ於テ百瓲單位トスルコト

第百四十九條　經理局調査課長ハ連帶線取扱ニ係ル航路輸送主要貨物ノ數量ヲ連帶計算書類ニ依リ前條ノ規定ニ準シ審査計算スヘシ

第百五十條　經理局調査課長ハ前二條ノ書類ニ依リ省全航路ニ於ケル主要貨物輸送噸數ヲ航路毎ニ上下別、品目別、扱種別ニ總括審査決定シ主要貨物航路輸送噸數月報及同年報ヲ調製シ月報ニ在リテハ翌月末日迄ニ年報ニ在リテハ翌年三月末日迄ニ關係ノ向ヘ送付スヘシ

様式

主要貨物航路輸送噸數月報及同年報（品種第十六號）

主要貨物航路輸送噸數月報（年報）

昭和　年　月分　　經理局調査課

區間	積卸港	上下別	扱種別	品目別	小口扱	車扱	計
内地	大泊	下	移	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃

様式

割引貨物數量及運賃拔萃月報（品種第十七號）

一四糎

二〇糎

割引貨物數量及運賃拔萃月報

經理局調査課長殿　　昭和　年　月分

發驛　經由　著驛又ハ著會社　鐵道局經理課長

品目符號	扱

數量				運賃			
十粁又ハ端	〃	〃	〃	錢	〃	〃	〃
計 百粁又ハ端				計 圓			

備考　1. 小口扱及特別小口扱粁數ハ月計ニ於テ百粁單位トスルコト
2. 運賃ハ省線内運賃（特別小口扱ハ省社通算運賃）ヲ記入シ月計ニ於テ圓單位トスルコト

第百五十二條　經理局調査課長ハ連帶線取扱ニ係ル割引貨物ノ數量及運賃ヲ連帶計算書類ニ依リ前條ノ規定ニ準シ審査計算スヘシ

第百五十三條　經理局調査課長ハ前二條ノ書類ニ依リ省全線ニ於ケル割引貨物ノ噸數及運賃ヲ鐵道局別、品目別、扱種別ニ總括審査決定シ割引貨物噸數及運賃月報及同年報ヲ調製シ月報ニ在リテハ翌々月五日迄ニ又年報ニ在リテハ翌年三月末日迄ニ關係ノ向ニ送付スヘシ

様式

割引貨物噸數及運賃月報及同年報（品種第十八號）

割引貨物噸數及運賃月報(年報)

昭和　年　月分　　經理局調査課

局別	何々鐵道局	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	合計	記事
品目別	噸數運賃	噸數	運賃	噸	圓	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
割引率	取扱種別											
塗裝保護ノ剰引	貨切扱	(記入例)										
砂利 一割五分	貨切扱											
石灰 〃	小口扱											
〃 〃	貨切扱											
	計											
〃 〃	特別小口扱											
計	小口扱											
〃 〃	噸扱											
〃 〃	貨切扱											
〃	計											
〃	特別小口扱											
〃 〃	小口扱											
〃 〃	噸扱											
〃 〃	貨切扱											
合計												

備考　1. 本表ハ貨物運送規則別表ニ定ムル貨物割引賃率表ニ依ルモノヲ計上ス
2. 省及連帶關發驛ノモノヲ計上ス
3. 運賃ハ特別小口扱ヲ除キ省收額ノミヲ計上ス

第百五十四條　經理局調査課長ハ毎年省全線ニ於ケル割引貨物ノ噸數、噸粁及運賃ヲ第百五十一條乃至第百五十三條ノ書類ニ依リ總括審査決定シ割引貨物運輸成績年報ヲ調製シ翌年八月末日迄ニ關係ノ向ニ送付スヘシ

様式

割引貨物運輸成績年報（品種第十九號）

割引貨物運輸成績年報

昭和　年分　　何々鐵道局　　經理局調査課

品目別 ＼ 局	割引率	扱種別	何々鐵道局				合計				割引率	記事
			噸數	噸粁	運賃		噸數	噸粁	運賃			
產業保護ノ割引				粁	圓		噸	粁	圓			
石炭石	一割五分	貸切扱										
〃	〃	小口扱										
〃	〃	貸切扱										
〃	〃	計										
計	〃	特別小口扱										
〃	〃	小口扱										
〃	〃	噸貸切扱										
〃	〃	計										
合計	〃	特別小口扱										
〃	〃	小口扱										
〃	〃	噸貸切扱										
〃	〃	計										

總貨物ニ對スル千分比率ハ貨物運送規則別表ニ定ムル貨物割引賃率表ニ依ルモノヲ計上ス

備考
1. 本表ハ貨物運送規則別表ニ定ムル貨物割引賃率表ニ依ルモノヲ計上ス
2. 省及連帶線發送ノモノヲ計上ス
3. 運賃ハ特別小口扱ヲ除キ省收額ノミヲ計上ス
4. 總貨物ニ對スル千分比率ハ全局ニ於テ算出ス
5. △印ハ本年ノ減ヲ示ス

第百五十五條　前條ノ割引貨物運輸成績統計ハ鐵道局別、品目別、扱種別毎ニ左ノ各號ニ依リ計算スルモノトス

一　噸數及運賃ハ第百五十三條ノ割引貨物噸數及運賃年報ニ依リ算定スルコト

二　噸粁ハ第百五十一條及第百五十二條ノ割引貨物數量及運賃抜萃月報一箇年分ニ依リ品目別、發著關係驛別、扱種別毎ニ噸數ヲ計算シ之ニ驛間粁程ヲ乘シ算定スルコト

三　各計數ニ對シテハ前年比較增減ヲ算定スルコト

四　省全線ニ於ケル割引運賃額ヲ算定スルコト

第四節　特別扱貨物噸數、噸粁及運賃

第百五十六條　鐵道局經理課長ハ自局内各驛取扱ニ係ル特別扱貨物ニ對スル數量及運賃ヲ貨物通知書ニ依リ發著關係驛別（連帶線ハ線別）、種別（官用、軍事供用令、其ノ他）扱種別ニ審査計算シ特別扱貨物數量及運賃抜萃月報ヲ調製シ翌月十八日迄ニ經理局調査課長ニ提出スヘシ

様式

特別扱貨物數量及運賃扱萃月報（品種第二十號）

二〇糎

經理局調査課長殿　　特別扱貨物數量及扱萃月報　　鐵道局經理課長

昭和　年　月分　發驛　　著驛又ハ著會社　　經由

扱種別數量及運賃種別又ハ符號	特別小口扱		小口扱		貸切扱	
	扱數	運賃	扱數	運賃	扱數	運賃
	十噸	錢	十噸	錢	噸	圓
計	百噸	圓	百噸	圓	噸	圓

備考　1. 特別小口扱及小口扱扱數ハ月計ニ於テ百噸單位トスルコト
2. 運賃ハ省線内運賃（特別小口扱ハ省社通算運賃）ヲ記入シ月計ニ於テ圓單位トスルコト
3. 種別ノ異ナル毎ニ別葉トス

第百五十七條　經理局調査課長ハ連帶線取扱ニ係ル特別扱貨物數量及運賃ヲ連帶計算書類ニ依リ前條ノ規定ニ準シ審査計算スヘシ

【註】連帶線發ノ官用貨物及軍事供用令貨物ノ噸數及運賃ハ第百六十條第十八號ノ書類中ニハ之ヲ算入セサルモノトス

第百五十八條　經理局調査課長ハ前二條ノ書類ニ依リ省全線ニ於ケル特別扱貨物噸數及運賃ヲ鐵道局別、種別、扱種別ニ總括審査決定シ特別扱貨物噸數及運賃月報及同年報ヲ調製シ月報ニ在リテハ翌月末日迄ニ同年報ニ在リテハ翌年度六月末日迄ニ關係ノ向ニ送付スヘシ

様式

特別扱貨物噸數及運賃月報及同年報（鐵種第一十一號）

特別扱貨物噸數及運賃月報（年報）

昭和　　年　　月(度)分　　經理局調査課

局別	種別	扱種別	噸數及運賃	何々鐵道局	〃	〃	〃	〃	〃	合計
			噸數							
			運賃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	官用貨物	特別小口扱	噸							
			圓							
		小口扱	噸							
			圓							
		貨切扱	噸							
			圓							
		計	噸							
			圓							
	軍事供用令	貨切扱	〃							
			〃							
	〃	〃	〃							
			〃							
			〃							
			〃							
合計			〃							

（記入例）

備考　1. 軍事供用令ニ依ル貨物ハ一車ニ付十噸トシテ計算ス
2. 省及連帶線發送ノモノヲ計上ス
3. 運賃ハ特別小口扱ヲ除キ省收額ヲ計上ス

第百五十九條　經理局調査課長ハ毎年度省全線ニ於ケル特別扱貨物ノ噸數、噸粁及運賃ヲ前三條ノ書類ニ依リ鐵道局別ニ左ノ各號ニ依リ總括審査決定シ特別扱貨物運輸成績年報ヲ調製シ翌年度七月末日迄ニ關係ノ向ニ送付スヘシ

一　發著關係驛別、種別、扱種別ニ計算スルコト

二　噸數ニ驛間粁程ヲ乘シ噸粁ヲ算定スルコト

三　噸數及運賃ハ特別扱貨物噸數及運賃年報ニ依リ計算スルコト

四　各計數ニ對シテハ前年比較增減ヲ算定スルコト

様式

特別扱貨物運輸成績年報（品種第二十一號）

特別扱貨物運輸成績年報

昭和　年度分

經理局調査課

| 局別 | 何々鐵道局 | 〃 | 〃 | 〃

十九　主要貨物發著數量及運賃表（曆年）
二十　主要貨物運輸成績表　（〃〃）
二十一　割引貨物運輸成績表　（〃〃）
二十二　省用無賃貨物輸送噸數及噸粁表
二十三　各驛間旅客、貨物發著通過一覽圖表
二十四　航路運輸成績表

第百六十一條　前條ノ各種書類ノ調製方ニ關シテハ第二章乃至第五章ノ規定ヲ準用ス

第七章　雜　則

第百六十二條　本細則ニ依ル運輸統計表類ノ保存期間ハ左ノ通トス

一　第二章普通統計ニ關ルモノハ左記ヲ除クノ外月報類ハ十箇年又年報類ハ二十箇年トス
イ　車輛貸渡（借入）輛數月報　三箇年
ロ　連帶線發旅客、貨物及手荷物數量月報　一箇年
ハ　他局連絡旅客、貨物數量及延粁年報　十箇年
ニ　局分界驛發著旅客、貨物數量年報　十箇年
ホ　旅客、貨物發著關係驛別取扱數量年報　一箇年（「ヘ」號ノ年報作成後）
ヘ　旅客、貨物發著關係驛別數量年報　十箇年
ト　特殊旅客數量及賃金ニ關スル月報及年報　十箇年
チ　郵便物取扱收入及割賦月報竝連帶收支ニ關スル月報　一箇年
二　第三章特別統計ニ關スルモノハ客車定員利用成績表及同圖表ハ三十箇年其ノ他ハ二十箇年トス
三　第四章運輸成績統計ニ關スルモノハ月報類ハ二十箇年又年報類ハ三十箇年トス

四　第五章貨物品種別統計ニ關スルモノハ左記ヲ除ク外月報類ハ五箇年又年報類ハ三十箇年トス
イ　各種貨物數量及運賃抜萃月報　一箇年
ロ　原**カード**　二箇年
ハ　月計**カード**原表　一箇年
ニ　月計**カード**　一箇年
ホ　特定驛發著主要貨物噸數及運賃月報　一箇年
ヘ　主要貨物年計**カード**原表　三箇年
ト　年計**カード**　十箇年

五　鐵道局經理課ニ於テ保存スルモノニ在リテハ前各號保存期間ノ各二分ノ一箇年トスルコトヲ得

○客貨車解結車掌報告取扱手續

大一一、二、二八　達一一〇
改正（昭二、一達同四、五達三九五　同二、四達三九二同五、六達五八三　同二、六達四八四　同三、九達七五一）

客貨車解結車掌報告取扱手續左ノ通定ム

客貨車解結車掌報告取扱手續

第一條　車掌（客扱專務及荷扱專務ノ車掌ヲ含ム）ハ乘務シタル列車ノ連結車輛ニ對シ本手續ノ定ムル所ニ依リ客貨車解結車掌報告（第一號樣式）ヲ作成シ所屬車掌所主任又ハ車掌所助役ニ提出スヘシ

第一條ノ二　車掌ノ乘務セサル列車ニ對スル客貨車解結車掌報告ハ左記ニ依リ作成スルモノトス

一　始發驛驛長ニ於テ作成スルコト
二　前號ニ依リ作成シタル報告ハ機關手之ヲ携行シ著驛驛長ニ引渡スコト
三　途中驛ニ於テ解結シタルモノハ當該驛長ヨリ電話等ニ依リ列車ノ著驛ニ通知スルコト
四　著驛驛長ハ前號ノ報告ヲ受ケタルトキハ之ニ自驛關係ノ分及途中驛解結ノモノヲ記入スルコト

第二條　車掌所主任又ハ車掌所助役ハ第一條ノ報告ヲ審査シ一日分毎ニ列車種別、上下方向及區間別ト爲シ之ヲ列車番號順ニ取揃ヘタル上客貨車解結車掌報告送付書（第二號様式）ヲ添附シ毎旬五日迄ニ前旬分ヲ主管鐵道局經理課（調査掛）ニ提出スヘシ

第一條ノ二ニ依リ驛長ニ於テ作成シタル客貨車解結車掌報告ノ取揃區分提出方ハ著驛驛長ニ於テ前項ニ準シ處理スルモノトス

第三條　第一條及第一條ノ二ノ報告ハ第四條第二號後段ノ場合ヲ除クノ外左記各號ニ依リ別葉ニ作成スヘシ但シ編成客車同一ニシテ一日數回同一區間ヲ運轉スル列車ニ在リテハ上下方向別ニ別葉トシ數箇列車ヲ連記スルコトヲ得

一　列車ノ種類ヲ異ニスル毎
二　列車番號ヲ異ニスル毎
三　鐵道局所管ヲ異ニスル毎

第四條　本報告記載方ハ左記各號ニ依ルヘシ

一　年月日、本報告面記載ノ初發驛ニ於ケル定時運轉ノ日ヲ記入スヘシ
二　列車番號　當該列車番號ヲ記入スル外列車遲延ノ爲他ノ列車ニ變更運轉シタルトキハ該列車番號ヲ附記シ其ノ要旨ヲ記事欄ニ記入スヘシ但シ軍用列車、廻送列車又ハ單行機關車ニシテ車輛ヲ牽引シタル場合ニ在リテハ連結車輛ノ種類ニ依リ之ヲ旅客、貨物、混合ニ區別スヘシ
三　列車種類　列車運轉時刻表所定ノ名稱ヲ記入スルモノトス
四　乘務區間　乘務區間ノ始終驛名ヲ記入スヘシ但シ第三條ニ依リ二葉以上ニ區分作成スル場合ハ各打切リタル區間ノ始終驛名ヲ記入スヘシ
五　客車區間及車輛番號
（イ）區間ハ乘務區間ニ於ケル客車ノ解結驛名ヲ記入スヘシ
（ロ）第三條ニ依リ數箇列車ヲ一葉ニ連記スル場合ハ次列車以下ノ連結區間及車輛番號ノ記入ヲ省略シ區間欄ニ列車番號ノミヲ記入スヘシ
（ハ）客車ノ積、空ハ廻送車ニ限リ空車トシ其ノ他ハ積ノ欄ニ記入スヘシ但シ郵便車ハ搭載區間ノミヲ積車トシ合造車（三等郵便手荷物緩急車ノ如キ）ニシテ郵便物搭載ナキ場合ハ其ノ番號ヲ積ノ欄ニ記入シ空ノ欄ニ「ユ」ト附記スヘシ
（ニ）廻送車ヲ途中驛ヨリ使用シタルトキ又ハ積車カ途中驛ニ於テ事故ノ爲空車ニ變シタル場合ハ其ノ變化ヲ生シタル驛ヲ解結驛トシ積、空別ニ各其ノ區間及記號番號ヲ記入スヘシ
（ホ）貨物緩急車ヲ旅客緩急車ニ代用シタルトキハ其ノ記號及番號ヲ記入セス同欄ニ「ワフ代用」ト又客車ニシテ標記等級以外ニ使用シタル場合ハ客車番號ノ上部ニ「全又ハ半何等又ハ荷ニ代用」ト附記スヘシ
六　貨車連結解放車數
（イ）車數ハ現車數ヲ記入スヘシ但シ車輛稱號規程第十三條ノ「サ、キ」記號車ハ二車ニ換算スヘシ
（ロ）記入順序ハ乘務區間發驛ニ於ケル現在車數ヲ連結欄ニ記入シ順次途中驛ニ於ケル解結車數ヲ記入ノ上乘務終了驛現在車數ヲ同驛解放欄ニ記入合計ヲ爲スヘシ
（ハ）貨車ノ積、空ハ左記ノモノヲ除クノ外積荷ノ有無ニ依リ區別記入スヘシ
　一　有蓋緩急車（貨物緩急車ニ代用ノ）（旅客緩急車ヲ含ム）　積荷ノ有無ニ拘ラス積車トス但シ廻送ノ場合ハ空車トス
　一　代用車

一　歯車車　　空車トス
一　車掌車　　空車トス

（ニ）左記車輛ハ緩急車欄ニ記入スヘシ

有蓋緩急車、歯車車、貨物緩急車ニ代用シタル旅客緩急車、車掌車

第五條　省外客貨車ニシテ廻送ニ係ルモノハ本報告ニ記入スルヲ要セス

第六條　鐵道局長ハ必要ニ應シ本報告書ニ記入事項ヲ附加シ又電車、氣動車ニ對シ別ニ簡易ナル報告書ヲ制定シ第一條ノ報告ニ代フルコトヲ得

附　則

第七第　本手續ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正九年三月三日達第一八八號客貨車解結車掌報告取扱手續ハ之ヲ廢止ス

（第一號樣式）

客貨車解結車掌報告

昭和　年　月　日　　車掌所車掌前部

第　　列車　　列車種類

乘務區間自　　驛至　　驛　　同　　上後部

客車					貨車																	
區間		記號	番號		驛名	積									空							
						緩急車及合用積代車				其他		計			緩急車		其他		計			
自	至		積	空		連結	解放	連結	解放	連結	解放	連結	解放		連結	解放	連結	解放	連結	解放		
					合計																	

記事　　車掌所主任　印

備考　1. 客車番號ハ列車ノ前部ヨリ順次記入スヘシ
2. 貨車連結欄ノ合計ト解放欄ノ合計トハ必ス一致スヘキモノナルカ故ニ之ヲ照合シ誤謬ナキヲ確認スヘシ

（第二號樣式）

客貨車解結車掌報告送付書

昭和　年　月　日分

リ

車掌所主任

種別	區間 自	區間 至	列車番號 定	列車番號 不定	列車番號 臨	列車番號 時	記事
旅客列車							
混合列車							
貨物列車							
建築其保他							

備考　1. 本表ハ車掌所主任ニ於テ車掌ヨリ提出スヘキ客貨車解結車掌報告ニ對シ殘メ列車ノ運轉區間及番號ヲ記入シ置クヘシ

2. 定期列車ニシテ運轉休止シタル場合ハ列車番號ヲ抹消シ且一部休止ノ場合ハ其ノ休止區間及番號ヲ記事欄ニ記入スヘシ

3. 建築列車ハ記事欄ニ有貨、無貨ノ區別ヲ記入スヘシ

4. 單行機關車カ車輛ヲ牽引シタル場合ハ其ノ列車番號ヲ臨時ノ欄ニ記入シ記事欄ニ「單機牽引」ト附記スヘシ

○船舶客荷搭載報告手續

大　一四、三、一五　達一〇〇

改正　大一四、九達七四九　昭二、一達一　昭二、一一達七七　同四、一達五一　同五、三達一三一

船舶客荷搭載報告手續左ノ通定ム大正十四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

船舶客荷搭載報告手續

第一條　船長又ハ棧橋長ハ其ノ運航船舶ニ搭載シタル旅客、手小荷物、郵便物及貨物ノ數量竝船舶內ニ於テ取扱ヒタル收入金ニ對シ本手續ノ定ムル所ニ依リ船舶客荷搭載報告書（以下單ニ報告書ト稱ス）ヲ作成シ航海終了後之ヲ主管箇所ニ提出スヘシ

第二條　報告書ハ甲、乙、丙ノ三片制複寫式トシ甲片ハ所管鐵道局經理課（門司鐵道局ニ在リテハ船舶課）ニ提出シ丙片ハ控トス

第三條　報告書ノ樣式ハ航路ニ依リ左ノ四種トス

一　下關釜山間、青森函館間、稚內港大泊港間用

二　宇野高松間（旅客ノ分）用

三　宮島嚴島間、下關門司間（旅客ノ分）用

四　下關小森江間、宇野高松間（貨車航送ノ分）用

第四條　前條第一號ニ對シテハ一航海一便毎ニ第二號以下ニ對シテハ一日間ノ航海上下便毎ニ報告書一葉ヲ作成スルモノトス

第五條　報告書ノ記入方ニ關シテハ樣式ノ定ムル所ニ依ルノ外記事欄ニ左ノ事項ヲ記入スルモノトス

一、無賃旅客ニ對スル等級別人員（四歳未滿ノ小兒ヲ除ク）

二、無賃貨物ノ品名別數量

第六條　本手續ハ船舶ノ廻送及臨時航路運航ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七條　鐵道局長ハ必要ニ應シ本報告書ニ記入事項ヲ附加スルコトヲ得

第一號樣式　　三二糎

路航間山釜關下

種別		一 大人	小
普通運賃人員			
割引運賃人員	割引		
	〃〃		
	〃〃		
	〃〃		
	〃〃		
計			
無賃人員			

貨 特別小口 箇數	特別小口 重量	小口 箇數	小口 重量	廻 箇數	廻 廻

船 不足賃		特別室又ハ一等寢臺 箇數	特別室又ハ一等寢臺 料金		二 箇

1. 本表ハ毎便終航後直ニ提出スルコト
2. 旅客人員ハ乘車船券ニ依ルコト
3. 割引運賃人員ハ割引率ヲ異ニスル毎ニ區分
4. 無賃旅客人員ハ四歳未滿ノ小兒ヲ算入セサ
5. 貨車航送ニ對シテハ貨物欄中箇數ヲ車數ニ記入ノコト）

本表樣式ハ青森函館間、稚内港大泊港間、航路

（炭酸紙用）

第一號様式

甲
（乙）
（丙）

船舶客荷搭載報告

下關釜山間航路

昭和　年　月　日下リ（又ハ上リ）第　便

丸船長

種別		旅客 一等 大人	旅客 一等 小人	旅客 二等 大人	旅客 二等 小人	旅客 三等 大人	旅客 三等 小人	旅客 計 大人	旅客 計 小人	記事
普通運賃人員										
割引運賃人員	割引									
	〃〃									
	〃〃									
	〃〃									
	〃〃									
計										
無賃人員										

貨物 特別小口 箇数	特別小口 重量	小口 箇数	小口 重量	廻 箇数	廻 廻数	貸切 箇数	貸切 廻数

手荷物箇数 有賃	手荷物箇数 無賃	小荷物箇数 新聞雑誌	小荷物箇数 其ノ他	郵便物箇数 搭(分)載

乗換人員 原	變	普通 大人	普通 小人	割引 公務	割引 割
二等	一等				
三等	一等				
三等	二等				

船内扱収入（發賣）

不足賃		特別室又ハ一等寝臺 箇数	特別室又ハ一等寝臺 料金	二等寝臺 箇数	二等寝臺 料金	急行列車券 一等 券数	急行列車券 一等 料金	急行列車券 二等 券数	急行列車券 二等 料金	急行列車券 三等 券数	急行列車券 三等 料金	雑収入 食事料	雑収入 其ノ他	雑収入 計

1. 本表ハ毎便終航後直ニ提出スルコト
2. 旅客人員ハ乗車船券ニ依ルコト
3. 割引運賃人員ハ割引率ヲ異ニスル毎ニ區分スルコト
4. 無賃旅客人員ハ四歳未滿ノ小兒ヲ算入セサルコト又無賃貨物數量ハ品名別ニ記事欄ニ記入スルコト
5. 貨車航送ニ對シテハ貨物欄中箇數ヲ車數ニ重量ヲ廻數ニ訂正使用スルコト（但シ空車數ハ記事欄ニ記入ノコト）
6. （削除）
7. 搭載客貨ノ增減著シキモノハ其ノ事由ヲ記事欄ニ記スルコト
8. 休航又ハ就航ノ場合ハ其ノ事由ヲ記事欄ニ記入提出スルコト
9. 指定以外ノ事項ト雖必要ト認ムルモノハ記事欄ニ記入ノコト
10. 本表ヲ提出後訂正ヲ要スル箇所生シタルトキハ關係ノ向ニ速報スルコト

本表様式ハ青森函館間、稚内港大泊港間、航路ニ適用ス　甲片ハ洋紙　乙、丙片ハ薄葉紙　各片同一様式　丙片ニハ綴目ノ切斷線ヲ設ケス

（炭酸紙用）

第七條　鐵道局長ハ必要ニ應シ本報告書ニ記入事項ヲ附加スルコトヲ得

宇野高松間航路（旅客便）

下リ（又ハ上リ）便

種別 / 便別	旅客人員						
	二等		三等		計		
	大人	小人	大人	小人	大人		

種別 / 便別	旅客乗換人員					定期	回
	三等ヨリ二等ヘ						
	普通		割引			普通	大人
	大人	小人	公務	其他			
				大人	小人		

備考
1. 本表ハ一日間航海ニ對シ上下便毎ニ一
2. 旅客人員ハ乗車船券ニ依ルコト
3. 定期券ニ對スル人員ハ一乗船一人トシ
4. 旅客人員内譯欄（二）ノ港錢無料人員
5. 無賃人員欄ニハ鐵道職員其ノ他無賃乗
四歳未滿ノ小兒ハ算入セサルコト）團

宇野高松間航路　（旅客便）

下リ（又ハ上リ）便

種別 / 便別	旅客人員 二等 大人	二等 小人	三等 大人	三等 小人	計 大人

種別 / 便別	旅乗換人員 三等ヨリ二等ヘ 普通 大人	普通 小人	割引 公務	割引 其他 大人	割引 其他 小人	定期 普通	回 大人

備考
1. 本表ハ一日間航海ニ對シ上下便毎ニ一
2. 旅客人員ハ乗車船券ニ依ルコト
3. 定期券ニ對スル人員ハ一乗船一人トシ
4. 旅客人員内譯欄（二）ノ港錢無料人員
5. 無賃人員欄ニハ鐵道職員其ノ他無賃乗
四歳未満ノ小兒ハ算入セサルコト）團

第二號樣式

甲
(乙)
(丙)

船舶客荷搭載報告

宇野高松間航路（旅客便）

下リ（又ハ上リ）便

昭和　年　月　日

丸　船長

種別便別	旅客人員 二等 大人	二等 小人	三等 大人	三等 小人	計 大人	計 小人	手小荷物箇數 手荷物 有賃	手荷物 無賃	小荷物 新聞雜誌	小荷物 其他	計	郵便物箇數	手小荷物運搬車數 盈	空

旅客人員内譯（二） 團體旅客 發驛	著驛	人員 大人	小人	無賃	割引率	港錢無料人員 二等	三等

無賃人員 三等 大人	三等 小人	二等 大人	二等 小人

記事

種別便別 旅客人員内譯（一） 乘換人員 三等ヨリ二等ヘ 普通 大人	普通 小人	割引 公務	割引 其他 大人	其他 小人	特種乘車船券其他等 二等 定期 普通	二等 回數 大人	二等 回數 小人	二等 公務	二等 特種割引 割 大人	二等 特種割引 割 小人	二等 特種割引 割 大人	二等 特種割引 割 小人	二等 臨時遊覽 達號	二等 臨時遊覽 大人	二等 臨時遊覽 小人

三等 定期 普通	三等 定期 學生	三等 回數 大人	三等 回數 小人	三等 公務	三等 特種割引 割 大人	三等 特種割引 割 小人	三等 特種割引 割 大人	三等 特種割引 割 小人	三等 臨時遊覽 嘔 達號	三等 臨時遊覽 嘔 人人	三等 臨時遊覽 嘔 小人

備考
1. 本表ハ一日間航海ニ對シ上下便毎ニ一葉ヲ作成シ直ニ提出スルコト
2. 旅客人員ハ乘車船券ニ依ルコト
3. 定期券ニ對スル人員ハ一乘船一人トシテ計算スルコト
4. 旅客人員内譯欄（二）ノ港錢無料人員及無賃人員欄中ノ員數ハ旅客人員欄中ニ計上セサルコト
5. 無賃人員欄ニハ鐵道職員其ノ他無賃乘車船證所持者ヲ記入スルコト（但シ團體旅客先發人員及四歳未滿ノ小兒ハ算入セサルコト）團體旅客先發人員ハ團體旅客人員欄ノ無賃ニ計上スルコト
6. 乘換人員割引種計上ノ公務其ノ他ニシテ乘換優等級ノ割引證ヲ再提出シタルモノニ對シテハ其ノ員數左上傍ニ「再」ノ字ヲ附記シ其他種計上員數ノ右上傍ニ原等級ニ對スル割引率ヲ附記スルコト
7. 搭載旅客ノ增減著シキトキハ其ノ事由ヲ記事欄ニ記入スルコト
8. 休航又ハ就航ノ場合ハ其ノ事由ヲ記事欄ニ記入提出スルコト
9. 指定以外ノ事項ト雖必要ト認ムルモノハ記事欄ニ記入スルコト
10. 本表提出後訂正ヲ要スル箇所生シタルトキハ關係ノ向ヘ速報スルコト

甲片ハ洋紙、乙、丙片ハ薄葉紙、各片同一樣式
丙片ニハ綴目ノ切斷線ヲ設ケス

（炭酸紙用）

第三號様式

甲
（乙）
（丙）

路線間司門

下り（又ハ上り）

船長

別	客旅 人大	事
計		

（炭酸紙用）

考 1. 本表ハ一日間
2. 旅客ノ増減著
3. 休航又ハ就航

ルコト

本表様式ハ宮島嚴島間

甲
（乙）
（丙）

船舶客荷積載表

船長

日 時 年 月 日

種別	船名	積載時間	積載貨物	積載旅客	乗組員	備考

乗組員

甲板部			機関部			事務部			合計		
職名	人数	計	職名	人数	計	職名	人数	計	職名	人数	計

| 船舶 | 船体 | | | | | | | | | | |

第三號様式

甲
(乙)
(丙)

路航間司門關下

船長　　(リ上ヘ又)リ下

棟別 / 便別	旅客 大人	事
合計		

備考　1. 本表ハ一日間
　　2. 旅客ノ増減著
　　3. 休航又ハ就航　ルコト

本表様式ハ宮島嚴島間航

(炭酸紙用)

三二糎

第三號様式

甲
（乙）
（丙）

船舶客荷搭載報告

下關門司間航路

下リ（又ハ上リ）便

昭和　年　月　日

丸船長

便別＼種別	旅客人員（三等） 大人	小兒	計	手荷物箇數 有賃	無賃	小荷物箇數 新聞雜誌	其ノ他	郵便物箇數 搭載	記事
合計									

備考　1. 本表ハ一日間ノ航海ニ對シ上下便毎ニ一葉ヲ作製シ直ニ提出スルコト
2. 旅客ノ增減著シキトキハ其ノ事由ヲ記事欄ニ記入スルコト
3. 休航又ハ就航ノ場合ハ其ノ事由ヲ記事欄ニ記入提出スルコト
4. 四歲未滿ノ小兒ハ算入セサルコト
5. 指定以外ノ事項ト雖必要ト認ムルモノハ記事欄ニ記入スルコト
6. 本表提出後訂正ヲ要スル箇所生シタルトキハ關係ノ向ヘ速報スルコト

本表様式ハ宮島嚴島間航路ノ分ニ適用ス

甲片ハ洋紙、丙片ハ薄葉紙、各片同一様式
丙片ニハ綴目ノ切斷線ヲ設ケス

（炭酸紙用）

第四號樣式　甲（乙）（丙）

船舶客荷搭載報告

下關小森江間航路（貨車航送）　昭和　年　月　日　長橋發　ノ便

便別	船名	車數	特別小口扱	小口扱	逓扱	貨切扱	手荷物	小郵便物	計	空貨車	省用品（有無共）貨車	客車	機關車	事記

第四號樣式　甲(乙)(丙)

船舶客荷搭載報告

下關小森江間航路(貨車航送)　　昭和　年　月　日　　棧橋長

便別	車名	數	特別小口扱	小口扱	團扱	扱	賃切扱	手荷	小荷物	郵便物	計	空貨車	省用品(有無貨共) 貨車	客車	機關車	記事
合計																

備考　1　本表ハ一日間ノ航海ニ對シ上下便毎ニ一葉ヲ作成シ直ニ提出スルコト
2　級外品貨物ハ相當欄ニ記入スルノ外其ノ品名重數噸數ヲ記事欄ニ記入スルコト
3　休航又ハ繰航ノ場合ハ其ノ事由ヲ記事欄ニ記入提出スルコト
4　指定以外ノ事項ト雖必要ト認メタルモノハ記事欄ニ記入スルコト
5　本表提出後訂正ヲ要スル箇所生シタルトキハ關係ノ向ニ速報スルコト
6　本表二葉以上ニ亙ル場合ハ各頁計及最終頁ニ合計ヲ爲スモノトス

(炭酸紙用)

本樣式ハ宇野高松間航路貨車航送ノ分ニ適用ス　　甲片ハ洋紙、乙、丙片ハ薄葉紙、各片同一樣式

丙片ニハ綴目ノ切斷線ヲ設ケス

第四章　雜　則

○荷物引換代金支拂未濟整理手續　大　一五、一二、一〇　達一〇四三

荷物引換代金支拂未濟整理手續左ノ通定メ大正十六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

荷物引換代金支拂未濟整理手續

第一條　荷物引換代金ニシテ荷送人ニ對シ支拂ノ通知ヲ發シタル當月ヨリ起算シ六箇月以上ヲ經過スルモ荷送人ノ責ニ歸スヘキ事由ニ因リ其ノ支拂ヲ爲スコト能ハサルモノニ關シテハ本手續ニ依リ處理スヘシ

第二條　驛所ノ長、主任ハ左ニ揭クル事項ニ該當スル引換代金ノ支拂未濟ノモノニ對シテハ別ニ定ムル引換代金支拂未濟月報ニ其ノ支拂未濟ノ事由其ノ他ノ要項ヲ詳記シ代金引換小荷物切符（甲ノ二）代金引換貨物通知書（丁）又ハ引換代金收入濟通知書ヲ添附シ每月主管鐵道局經理課長ニ提出スヘシ

一　再三支拂方督促スルモ漫然受領セサルモノ

二　支拂通知ヲ發スルモ旣ニ領收ノ故ヲ以テ其ノ受領ヲ拒否シタルモノ

三　居所不明其ノ他荷送人ノ責ニ歸スヘキ事由ニ因リ其ノ支拂ヲ爲スコト能ハサルモノ

前項ノ場合ニ於テハ代金引換小荷物切符戾片及貨物運送狀ニ其ノ要旨ヲ明記シ置クヲ要ス

第三條　驛所ノ長、主任ハ前條ノ手續ヲ爲ス場合ハ其ノ以前ニ於テ適當ノ方法ニ依リ其ノ要旨ヲ荷送人ニ豫告スヘシ

第四條　驛所ノ長、主任ハ第二條ノ場合荷送人ニ於テ受領ヲ拒否シ其ノ支拂ヲ爲スコト能ハサルモノニ對シテハ荷送人ヨリ其ノ受領拒否ノ事由ヲ詳記且之ニ記名捺印セル書類ヲ徵シ關係證憑書類ニ添附提出スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ第一條ニ定ムル期間ニ拘ラス其ノ處理當月ニ於テ提出スルモノトス

第五條　鐵道局經理課長第二條及前條ノ證憑書類ヲ受ケタルトキハ其ノ支拂未濟ノ事由ヲ審査シ收入月別ノ支拂未濟

總額ヲ確定シタル上該關係書類ヲ整理保管スヘシ

第六條　驛所ノ長、主任第二條ノ手續ヲ爲シタル後ニ於テ荷送人ヨリ支拂ノ請求ヲ受ケタルトキハ直ニ其ノ要旨ヲ主管鐵道局經理課長ニ報告スヘシ

第七條　鐵道局經理課長前條ノ報告ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク其ノ正否ヲ確メ成規ニ依リ繰替拂ノ手續ヲ爲サシムヘシ

第八條　繰替拂命令官前條ニ依リ繰替拂ノ手續ヲ爲シタルトキハ直ニ其ノ附屬證憑書ヲ主管鐵道局經理課長ニ送付スヘシ

第九條　本手續ニ依ル支拂未濟額ノ整理其ノ他別段ノ定ナキ事項ニ關シテハ運輸收入竝諸拂戻事務取扱細則ニ依ル

附　則

第十條　本手續ハ本手續施行前ニ於ケル支拂未濟ノモノニ對シテモ之ヲ適用ス

○運輸收入審査竝統計「カード」輸送手續

大一五、一二、一〇達一〇四六

改正　昭三、八達六五四　同三、一〇達八四四

運輸收入審査竝統計**カード**輸送手續左ノ通定ム

運輸收入審査竝統計**カード**輸送手續

第一條　運輸收入審査竝統計用**カード**ノ輸送ニ關シテハ本手續ニ依リ處理スヘシ

第二條　運輸收入審査竝統計用**カード**ハ所定ノ**カード**收納函ニ之ヲ收納シ嚴重ニ鎖鍵ヲ施スヲ要ス

第三條　本手續ニ依ル**カード**ノ收納函ハ貴重品ノ例ニ依リ左ノ列車ニ搭載シ之ヲ輸送スヘシ

鐵道局	列車番號	發送驛	著驛
名古屋	四〇	名古屋	目黑
大阪	一二	大阪	同
門司	四	下關	同
仙臺	一〇六	仙臺	目黑
札幌	四〇二	札幌	同
	二便	函館	同
	二〇二	青森	目黑

第四條　發送驛驛長ニ於テ前條ノ**カード**收納函ノ引繼ヲ受ケタルトキハ列車乘務員トノ間ニ於テ其ノ受授ヲ明ニシ遲滯ナク發送ノ手續ヲ爲スヘシ

中繼驛ニ於ケル場合亦同シ

第五條　到著驛驛長ハ前條ノ**カード**收納函到著シタルトキハ列車乘務員ト其ノ受授ヲ明ニシ遲滯ナク之カ引渡ノ手續ヲ爲スヘシ

第六條　指定列車到著シタルトキハ關係係員ニ於テ直ニ其ノ引取ノ手續ヲ爲スヘシ

第七條　**カード**收納函返送ノ場合ハ前三條ノ規定ニ準シ左ノ列車ニ搭載輸送スルヲ要ス

收納函所屬鐵道局	列車番號	返送驛	著驛
名古屋	三五	目黑	名古屋
大阪	三五	同	大阪

門司　同　七　同　下關

仙臺　一〇一　同　目黒　仙臺

札幌　二〇一　同　青森　函館　札幌

一便　四〇一　函館　青森

第七條ノ二　第三條ノ場合ニ於ケル列車終著驛ト著驛間及前條ノ場合ニ於ケル返送驛ト列車始發驛間竝東京鐵道局發送ニ係ル**カード**收納函ノ輸送ニ關スル手續ハ東京鐵道局長ノ定ムル所ニ依ル

第八條　**カード**輸送ニ關シ遲延其ノ他ノ事故アルトキハ一般手續ニ依ルノ外直ニ其ノ旨經理局調査課長ニ電報スヘシ

第九條　本手續ニ定メナキ事項ニ關シテハ旅客列車又ハ汽船便ニ依ル書狀及同物品運送取扱手續ヲ準用ス

第十條　本手續ハ昭和二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和五年十一月五日印刷
昭和五年十一月十日發行

鐵道大臣官房法規課

鐵道法規類抄
運輸帳表

東京府荏原郡品川町北品川宿五三三
發行兼印刷人　川口芳太郎

II 33